

NIIGATA
Culture
Tourism

新潟県 新発田 | 村上

NIIGATA
Culture
Tourism



— ニイガタ カルチャー ツーリズム —

豊かさを体感する旅へ。





鉛色の空と屋根に
積もる雪。

日本海からの
冷たい風に揺れる

塩引きが

村上に冬を告げる

鮭の塩引き



木を彫り、漆を塗り重ねる。
伝統を守ることと
時代に合わせた革新——。
両方があるから、
艶やかな朱色は未来へ続く。

村上木彫推朱



「もうすぐわたしの
おうちが完成だニヤ〜。
誰も入れさせないからニヤ〜！」。
職人たちの愛情たっぷり
編んでいるから、
中はとってもあたたか。

猫ちぐら





かつて、
この絢爛豪華な迎賓館には
近代日本の礎を築いた
政財界の大物たちが
集っていた。

蔵春閣



シナノキの樹皮を剥ぐ。
糸を撚る。
そして、布を織る。
全部、山熊田の自然の恵みであり、
先人の知恵と技。

羽越しな布



CONTENTS

- 08 特集1 鮭と村上の人々が織りなす唯一無二の食文化
- 18 プンカビト1 吉川真嗣さん(千年鮭 きっかわ)
- 20 特集2 城下町・村上の町を歩く
- 30 ミニ特集1 村上の風土が育む北限のお茶を求めて
- 34 村上市・関川村・胎内市 文化カタログ
- 38 プンカビト2 ~次世代の担い手 鈴木 都さん(漆工房 じえむ)
- 39 新発田市特派員 プンカニュース 吉原悠博さん(吉原写真館)
- 40 特集3 豪農・偉人が遺した歴史的庭園と建築を訪ねる
- 50 プンカビト3 河内花子さん(関川村猫ぢぐらの会)
- 52 ミニ特集2 市民の絆を結ぶ村上の三大まつりへ
- 57 プンカビト4 ~次世代の担い手 大滝ジュンコさん(山熊田工房)
- 58 関川村特派員 プンカニュース 川崎ノトリシアさん
- 59 ミニ特集3 新潟県北温泉三味
- 64 新発田市・聖籠町・阿賀野市 文化カタログ
- 70 プンカビト5 伊藤正仁さん(新発田まちなみネットワーク)
- 72 子どもと一緒に1 やすだ瓦ロードを歩こう
- 74 プンカビト6 ~次世代の担い手 遠藤 俊さん(丸三安田瓦工業)
- 75 子どもと一緒に2 胎内昆虫の家でチョウのエサやり体験をしよう!
- 76 子どもと一緒に3 離島・粟島の豊かな自然に触れよう!
- 78 イベントカレンダー

本誌のマーク表示について

ピクトグラムは紹介している文化・文化財のジャンルを表しています。

-  食 LOCAL FOOD
-  まつり・イベント FESTIVAL
-  自然・環境 NATURE
-  史跡・建造物 HISTORIC SITES & BUILDINGS
-  産業 LOCAL INDUSTRY
-  伝統工芸 TRADITIONAL CRAFTS
-  生活文化 LIFE CULTURE
-  芸術・芸能 PERFORMING ARTS

表紙について

千年鮭 きっかわ
詳細はp.16

◎ Special Movie



本ガイドブックと連動したスペシャルムービーはこちらから。



※掲載内容は2024年9月30日現在のものです。日程、内容、料金などは予告なく変更または中止となる場合があります。お出かけの前にご確認ください。

※掲載施設、店舗の営業日、営業時間、定休日等は大型連休、お盆、年末年始には変更される場合があります。また、降雪・積雪によって変更となる場合があります。お出かけの前にご確認ください。

※一部写真はイメージです。実際の内容とは異なる場合がございます。

※掲載内容により生じたトラブルや損害等について、発行元では補償いたしかねますので、予めご了承ください。

次の旅はどこに行こうと考えていますか？

2024年7月、新潟県では嬉しいニュースがありました。

「佐渡島(さど)の金山」が世界文化遺産に登録決定。新潟県で初めてとなる世界遺産が誕生したのです。みなさんには、ぜひ多彩な魅力にあふれる佐渡島へ足を運んでほしいのですが、同時にもう少し足を延ばして、新発田(しばた)・村上にも旅をしませんか。

この地域は新潟県の北部に位置し、山形県と隣接するエリア。かつて城下町として栄え、城や武家屋敷、歴史を感じさせる町並みが今も残っています。

特に「イヨボヤ(鮭)の町」と呼ばれる村上は、古くから人々が鮭とともに暮らしてきた町。多彩な鮭料理をはじめ、軒下に鮭を吊るして寒風で干し上げるなど、独自の食文化が根付いています。また、日本における北限の茶処でもあり、雪の降る地域だからこそ、ほのかに甘く優しい味のお茶が作られています。

新発田には、新発田藩・溝口家の下屋敷と庭園として名高い清水園や、明治時代の大実業家として、近代日本の経済発展に多くの功績を残した大倉喜八郎の別邸、蔵春園(ぞうしゅんかく)があります。

歴史的な庭園や建築のなかに身を置き、当時に思いを馳せる時間は特別なもの。また「美人になれる温泉」として、地元で親しまれてきた月岡温泉も旅の目的として大推薦したい場所です。

旅のイメージは膨らみましたか？

しばた

むらかみ

目指すは新潟県の新発田・村上です。

村上市を流れる三面川で生まれた鮭の稚魚たちは、4年後また三面川に帰ってきます。

そして、毎年7月6・7日に行われる村上大祭(むらかみたいさい)には、

村上で生まれ育った人たちが「盆や正月に帰って来れなくても、この日だけは」と村上に帰ってきます。

慌ただしく変化し続ける毎日を生きるわたしたち――。

誰もがふと、郷愁にかられる時があるし、ふるさとに帰りたいと思う瞬間があります。

そんな気持ちを満たしてくれる旅が、新潟にあります。

さあ、新発田・村上の文化を体感し、心豊かにする旅へ。





Murakami food culture

鮭と村上の人々が織りなす 唯一無二の食文化

MURAKAMI

村上の人々が最も愛する魚
「イヨボヤ」の歴史を紐解く旅へ



村上市内を流れる三面川は、鮭の遡上する川として名高い。秋から冬にかけては、江戸時代から続く居繰網漁（いぐりあみりょう）が見られる。



村上には100種類を超える鮭料理があるといわれる。身はもちろん頭から皮、内臓まで余すところなく食べるのが鮭のまちに根付く食文化。



冬の村上を旅すればこんな光景を目にすることができる。民家の軒下に吊り下げられた鮭は、日本海からの湿った寒風に吹かれうまみを増す。



日本初の鮭の博物館、イヨボヤ会館では秋に遡上する鮭の姿が見られる。村上の鮭文化について、深く知り、学ぶことができる注目の施設。



三面川に遡る イヨボヤの恩恵

村上の人たちにとって最愛の魚「イヨボヤ」を感じる旅へ

「イヨボヤ」とは村上の方言で鮭を指す。「イヨ」は「うお」で魚のこと。「ボヤ」は魚を指す幼児語だ。だから鯛のことは「タイボヤ」と呼ぶ。「イヨボヤ」つまり村上では「魚」といえば「鮭」なのだ。

村上と鮭——その歴史は非常に古く、平安時代中期に編纂され律令の施行をまとめた法典「延喜式」には越後国から納められた税として鮭が記されていた記録が残る。この当時に「村上」という地名はまだなかったものの、越後国から納められた鮭の産地は村上だったと推測されている。もちろん、三面川をはじめとする村上市内の川にいつの時代から鮭が遡上していたのかは知る由もない。だが、前述の通りはるか昔から鮭という魚との深いかわりがあった地域であることは確かなのだ。

江戸時代中期になると、村上と鮭の結び付きをさらに強固なものとする出来事が起こる。三面川に遡上する鮭の数が減り、不漁が起こったのだ。その

ピンチを救い、村上を鮭のまちへと大きく前進させた人物が村上藩の下級武士、青砥武平治（あおとぶへいじ）である。彼は生まれた川に必ず帰ってくるという鮭の回帰性に着目。三面川に産卵場の環境を整え、遡上してきた鮭を保護し、個体数を増やすことを発案したのだ。具体的には三面川に「種川（たねかわ）」と呼ばれる分流を造成。遡上してきた鮭をそこに導き、産卵させ、産卵が終わるまでを禁漁にする自然化増殖システムを作り上げたのだ。分流の造成工事は1763年に着工。そこから31年もの歳月をかけ、1794年に完成。青砥武平治が76歳でこの世を去った6年後のことだった。これにより三面川で獲れる鮭の数は増加し、村上藩の財政に大きく貢献したといわれる。世界で初めて鮭の自然保護増殖を成功させた青砥武平治——彼こそ、村上の鮭文化の礎を築いた人物と言えるだろう。



三面川のそばにある村上市鮭公園に立つ青砥武平治像

その後、明治時代になると三面川では人工ふ化増殖技術も取り入れられ、鮭を獲りながらも、地域の資源として守り育む活動が今日まで続けられてい

る。1884年には約74万尾という漁獲数を記録したが、2023年は1万尾にも及ばなかった。特にここ10年ほどは減少幅が大きく、10年前には5〜6万尾の漁獲数があったが、昨年はついに過去最低の数字となってしまった。自然環境の変化という言葉で片付けるのは簡単だが、これは鮭たちからのSOSなのかも知れない。

村上の人たちにとって、鮭は冬の貴重な栄養源であり保存食であった。食べるものが決して豊かではなかった時代から、人々は知恵をしばりさまざまな調理方法を生み出し、文字通り頭から尾ひれまで余すことなく食し、その恩恵にあずかってきた。わたしたちがその歴史を学び、食文化に触れ、村上の人々の鮭への愛情を感じることこそが、この文化を未来へとつないでいくことになるはずだ。



1 生態観察室のパノラマ大水槽では、稚魚が群れをなして泳ぐ様子が見られる 2 漁の様子を撮影した写真も多数展示され、時代の変遷を見ることができ 3 魚のエサやり体験や鮭について学べるゲームコーナーもあるので、家族みんなで楽しむことができる



鮭の文化を伝える

「漁、食、そして言葉(方言)」。鮭こそ村上の文化の象徴といえると思うんです」

日本で最初にできた鮭の博物館 鮭文化を学べるガイドンス施設

鮭の文化を学び、体験できる日本初の博物館。館内は4つのフロアで構成され、自然の川の中を観察できるほか、鮭の生態や村上の鮭文化を学ぶことができる。地下1階の三面川鮭観察自然館には、三面川の分流「種川」の水中を観察できる窓が設置されていて、鮭をはじめ川に生息する生き物たちのありのままの姿を見ることができ、秋には遡上する鮭や、タイミングがよければ神秘的な産卵シーンが見られることも。また、人工河川の生態観察室では、季節によって、鮭の卵・稚魚・成魚の様子を見ることができ、

「大げさな言い方ですが村上の人にとって、鮭は空気みたいな存在。当たり前にあるけれど、なくてはならないものなのです。ですが、温暖化をはじめとした環境の変化により当たり前がそうでなくなりつつあります。そんな現状も踏まえて、鮭についての学びを深めてもらえたら」と奥村館長。館内では鮭と村上の人々の関わりを描いた動画の観覧ができるほか、漁具や鮭料理(模型)など興味深い展示が多数用意されている。村上の鮭文化を体感するために旅の最初に訪れてほしい施設だ。



自然・環境 NATURE
食 LOCAL FOOD

イヨボヤかいかん
イヨボヤ会館
data 新潟県村上市塩町13-34 tel.0254-52-7117
9:00~16:30 無休 入館料:大人600円、小中高生300円 Pあり



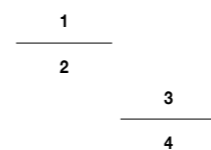
イヨボヤ会館 館長 奥村芳人さん

Okumura Yoshito

村上出身。イヨボヤ会館の館長として、鮭文化を広く発信する。好きな鮭料理は塩引きのほか、ドンピコ(鮭の心臓)の焼き物、煮物。



1 イヨボヤ会館に展示されている明治時代はじめ頃の居繰網漁の様子を描いた絵図 2 「小回し舟」を自在に操りながら川を下っていく 3 岸に帰ってきた舟から鮭を手にして誇らしげな漁師たちの笑顔が見られる 4 この日の漁で獲れたのはわずか2尾。減少傾向が続く三面川の現状を目の当たりにした日だった



自然・環境 NATURE
食 LOCAL FOOD

みおもてがわのいぐりあみりょう
三面川の居繰網漁
data 会場:三面川・左岸
見学無料
問:村上市観光課
tel.0254-75-8943

鮭を獲る



Murakami food culture
MURAKAMI

「江戸時代から続き、三面川にしか残っていないこの風景を残していきたい」

秋から初冬の風物詩 伝統的な鮭の漁を見に行こう

10月中旬から12月頭にかけて、村上市内の川には鮭が遡上し、漁師たちが鮭漁を行う風景を見ることができ、いくつかの漁法があるが、江戸時代から伝わる伝統漁法として、三面川(みおもてがわ)で今もなお行われているのが居繰網漁(いぐりあみりょう)と呼ばれる漁だ。三面川の川幅いっぱい

に設けられた柵(ウライ)の下流で行われ、漁師たちが「小回し舟」と呼ばれる川舟を巧みに操り、網で鮭を捕える。左上の絵図は鮭の博物館、イヨボヤ会館に展示されているもので明治時代はじめ頃の様子と推測される。対して、左下の写真は2023年11月23日の漁の様子。一艘の舟に2人の漁師が乗り、川の流れにのって網を操りながら八の字を描くように川下に向かっていく。二艘の舟の間には網が張られていて、そこに遡上してきた鮭を追い込んでいく。鮭が網にかかったら双方の

舟の漁師が呼吸を合わせ網を上げ、鮭を獲るといふ具合。ここには二艘の舟しか見えないが、鮭を追い込むための舟も必要なたため、三艘ひとチームで漁をするのが一般的だったようだ。薄日が差す、初冬の三面川にゆっくと小回し舟が漕ぎ出していく様子を見てみると、鮭の習性を利用した漁法を生み出した先人たちの知恵に感心する。そして、それを今日まで受け継いできた村上の人たちの実直さを感じることができはるはずだ。



1 「大きくなって帰ってきてね!」と小学生たちが稚魚を放流 2 稚魚は海に出て回遊しながら成長し、約4年で三面川に戻ってくるが、その確率は1,000尾のうち3尾程度といわれる

鮭を育てる

「4年後に大群になって三面川に戻ってくることを願っています」

鮭の数を増やすための市民体となった取り組み

近年、その数が減少傾向にある三面川に遡上する鮭。個体数を増やし、鮭文化を次世代につないでいくため、毎年2〜4月にかけて鮭稚魚の放流が行われている。そして4月には三面川鮭稚魚放流式と題した大規模な放流式を開催。令和6年度は、4月11日に開催され花角新潟県知事をはじめとした来賓と、村上市の小学生およそ190名が参加。川岸に並び、バケツに入った6〜7センチほどの鮭の

稚魚およそ3万匹を三面川に放流した。三面川鮭産漁業協同組合の佐藤克雄代表理事組合長は「サケの命のリレーのため、600万粒の卵を確保しました。4年後に大群になり戻ってくることを願っています」と切なる願いを述べた。2023年の記録的な鮭の不漁により、ふ化させる卵が確保できない状況だったが、全国のサケを扱うふ化場からの協力があり、開催にこぎつけた。未来に向けて、鮭文化を継承していくためにもこのような活動が不可欠となる。



産業 LOCAL INDUSTRY
みおもてがわさけちぎよほうりゅうしき
三面川鮭稚魚放流式

data 毎年4月上旬
会場:三面川鮭産漁業協同組合第3ふ化場前
(新潟県村上市羽下ヶ淵)
問:三面川鮭産漁業協同組合
tel.0254-52-3758



1 笑顔も交えつつ料理をもてなす山貝さん 2 ささまざまな料理で地元産の鮭を頭から尻尾まで余すことなく提供する「越後村上鮭料理コース」(8,800円)。鮭の命に対する深い感謝も感じる絶品コースだ 3 全席個室仕様。こうして料理人の話も聞けるコースもある 4 昆布締めした鮭に土佐酢のジュレをかけ、より深みが増す味に



りょうてい のとしん
料亭 能登新

data 新潟県村上市飯野2-1-9
tel.0254-52-6166
11:30~14:00(L013:30) /
17:00~23:00(L022:00)
不定休 席100 Pあり



食文化を繋ぐ

「伝統のよさを残しながらその時代とともに新しいものへと転換していく」

Murakami food culture
MURAKAMI



料亭 能登新
11代目店主
山貝 誠さん
Yamagai Makoto

村上市生まれ。高校卒業後、ミシュランで星を獲得したことも知られる東京の名店、玄治店 濱田家で修業。現在は社長兼料理長として能登新の伝統を継ぐ。

庭も望める贅沢な空間で地元産の鮭を存分に堪能

美しい黒塀に囲まれた情緒あふれる佇まい。江戸時代に創業し、250年以上もの歴史を有する能登新は、村上名産の鮭をふんだんに使った会席料理を楽しめる料亭だ。地元では、身はもちろん骨や皮まで鮭は捨てる部分がないとされるが、こちらでも煮物、焼物、刺身、珍味など常時数十種もの鮭料理を提供。軒先には身が締めまり銚色になった塩引き鮭が吊るされるなど、味覚や視覚からも村上の鮭文化を伝えてくれる。その老舗の看板を背負う山

貝誠さんは、実に11代目。「伝統とは革新の連続。古きよき文化をしつかり受け止めつつ、その時代でしか出せない技術や見せ方も加えて提供する」との言葉に料理人としての矜持を感じる。と同時に「村上の食文化を支える人たちの思いも料理に込めたい」と山貝さん。「食という漢字は、人を良くする」と書きます。食べたお客様に幸せを感じてもらい、その幸せが漁師や生産者の方々にも循環していく。そんな位置付けに僕たち料理人はいると思うので」。鮭文化と人を繋ぐ物語が宿る料理の数々を堪能してほしい。



体験する

越後村上三ノ丸流 鮭塩引き道場

毎年大人気のイベント!
自分で鮭の塩引きが作れる

毎年10月から11月に開催され、参加者が自ら塩引きを作ることができる体験イベント。熟練の師範の指導のもと、村上ならではの製法を伝授してもらうことができる。生の鮭をさばくところから塩を入れる工程、干し上げるまでの一連の作業を体験できるのがおもしろい。持ち帰り、自宅などで自分で干して完成させることもできるほか、村上の寒風で干し上げたものを、後日送ってもらうこともできる(別途料金)。鮭文化をダイレクトに感じられる人気イベント。



えちごむらかみさんノまるりゅうさけしおびきどうじょう

data 毎年10月～11月下旬
会場:イヨボヤ会館別棟
(新潟県村上市場町13-34)
参加費:1名9,000円～(要事前予約)
問:イヨボヤ会館 tel.0254-52-7117

1

1 生の鮭をさばく作業から。腹をすべて切らずに一部残す「止め腹」というさばき方は村上が城下町で切腹をきらったことから由来している 2 血を抜いて、鮭の身体をよく拭いてから塩をすり込んでいく 3 県外からも多くの人が参加する

3

見る

越後村上鮭塩引き街道

冬の村上の日常
軒先に吊るされた塩引き

毎年12月になると各家庭の軒先には、塩引きが吊るされ、冷たい風に揺れる様子を見ることができる。庄内町を中心に毎年12月に開催されている越後村上鮭塩引き街道では、その様子を歩きながら自由に見学が可能。首吊りを連想させないため、頭を下に向けて吊るしていることや、腹の一部をつないだままにした「止め腹」と呼ばれる独特の切り方などに注目しながら歩くのがおすすめ。冬にししか見ることのできない、昔ながらの風景を楽しみたい。



えちごむらかみさきけしおびきかいどう

data 毎年12月1日～20日頃
会場:村上庄内町～小町坂周辺
(新潟県村上庄内町、小町)
観覧料:無料
問:村上駅前観光案内所 tel.0254-53-2258

1

1 塩をすり込んだ後、1週間ほど寝かせ、塩を水で洗い流してから軒下などに数週間ほど干す 2 高湿な風に当てて干すことで熟成が進み、アミノ酸を豊富に含んだ独特のうまみとなる。村上ならではの気候によって作り出される

2



Murakami food culture

MURAKAMI

食べて、見て、体験して、 村上が誇る鮭文化を感じよう。

買う

千年鮭きつかわ
鮭のうまさをも堪能できる
加工品が並ぶ



購入して体感!

鮭文化を伝承し、鮭の加工品製造・販売を手掛ける名店。明治時代に建てられた町屋づくりの建物は趣があり、店舗や奥にある蔵などは国の登録有形文化財に登録されている。天井の梁から約1,000尾ほどの塩引きが吊り下げられている様子は圧巻で、思わず見入ってしまうほど。店内には塩引きをはじめ、酒びたしや焼漬、はらの醤油漬など多彩な鮭の加工品が並ぶ。千年の昔から鮭を慈しみともに生きてきたことからの「千年鮭」。手作りにこだわった味を堪能してほしい。



せんねんざけ きつかわ
data
新潟県村上市場町1-20
tel.0254-53-2213
9:00～17:30
無休 Pあり



1

2

1 趣のある店内には塩引きや鮭料理の様子を伝える写真が飾られている。鮭漁で使われていた「小回し舟」を商品棚にして鮭加工品を販売 2 塩引き鮭を1年かけて乾燥・熟成させて作る「鮭の酒びたし」は人気の珍味。日本酒をかけて食べることからこの名が付いた

ブンカビト

～ 地域の文化を担う人～

BUNKA-BITO

CULTURAL BATON PASSER



町屋再生

町屋の外観再生と空き家再生に取り組み市民主導のプロジェクト。サッシやアーケードを撤去し、外観修景と合わせて現在71軒を再建。



城下町村上 町屋の人形さま巡り

江戸や明治時代の町屋の生活空間を公開し、年間30万人の観光客を呼び込む村上の主要イベント。現在は約60軒の町屋が参加。



黒塀プロジェクト

市民主導で「黒塀1枚1000円運動」を展開し、ブロック塀を歴史的な黒塀に変える取り組み。2002年開始以来、460メートルの黒塀が完成。

せる道を選んだ真嗣さんが、最初に取り組んだのは、生活空間である町屋の公開。豪快な吹き抜けで特徴ある町屋の造りの中に入って観覧してもらったことで、その価値を多くの人に知ってもらうと考えたからだ。「一軒一軒の商店を訪ねて協力を募り、当初は22軒が集まりました。それまで観光客がゼロだった町に地図を持って歩く人々の姿が見られるようになったのです」。その後、町屋にもっと強い光をと、真嗣さんは春に『町屋の人形さま巡り』、秋には『町屋の屏風まつり』を企画・開催。これらのイベントには全国各地から観光客が押し寄せて大成功を収め、テレビや雑誌で取り上げられることで、村上の知名度を全国へと知らしめた。続く『黒塀プロジェクト』『町屋再生プロジェクト』では、クラウドファン

ディングという言葉すらない時代に、行政に頼らず市民主導で取り組みを行い、全国の人々に支援を呼びかけて、町屋の外観再生にも尽力。村上ならではの価値をひたすら模索した。これらの活動を通じて、真嗣さんが特に強調するのは「村上には日常の中に本物がある」ということ。村上の人々は、古くから伝わる鮭料理、北限のお茶、村上木彫堆朱など、何世代にもわたって受け継がれてきた文化に、日々の暮らしの中で何気なく触れる機会に恵まれているのだ。それは決して特別な瞬間やものではなく、村上の日常そのものなのだ。「生活の中にある本物の文化を、そのまま残すだけでなく、現代に合わせて少し形を変えること。それが、町に新しい価値や魅力を生み出すことができる。これまでの取

り組みを通じて実感したのは、今あるものに少しの磨きをかけることによつて、それまで見えなかった新しい価値が生まれてくるということだ。そして、この「気づき」を広げていくことが、町の活性化につながる。真嗣さんは考えている。「町の価値は地元の人には分からない。外から来た人によって、初めて気付かされる。自分の持っている町の価値に気付いた時、それを輝かせていくことが大切なんです。父は、村上の鮭文化が大切だと訴えながら守り続けました。その姿を見て育った私も、何としても村上の文化を守り抜かなければなりません。その言葉には、父から受け継いだ使命感とともに、伝統と革新への挑戦、未来を切り拓く新たな可能性への期待が込められている。



千年鮭 きつかわ

吉川真嗣さん



「村上には日常の中に本物があります。日々の暮らしの中で触れる文化、当たり前すぎて気づかない価値を見出すことが重要であって、それらを磨いていくことで、今まで見えなかった新しい価値が生まれていくのです」

城跡、武家屋敷、町屋、寺町と城下町を構成する4要素が色濃く残る村上市。軒を連ねる町屋、黒塀が連なる町並みは、何度訪れても風情がある。この美しい町並みは単なる観光地の役割だけではない。人々の暮らしがそこにあり、伝統文化が息づいている。

この町並みを守り抜いてきた立役者の一人が「千年鮭 きつかわ」の現社長、吉川真嗣さんである。江戸時代から続くきつかわは元々は造り酒屋。戦後の混乱期、真嗣さんの父で先代の哲

鮭さんが、村上に伝わる鮭に価値を見出し、衰退しつつあった鮭料理の加工・製造に着手した。「村上の大切な文化をなくしてはいけない」という強い信念のもと、事業の方向性を転換した哲鮭さんの姿に背中を押され、家業を継がない兄に代わって真嗣さんが村上に戻ってきたのは40年近く前のことだ。当時の村上には、町の近代化が進み、道路拡張により町屋が取り壊され、どこにでもあるような新しい街になる危機にさらされていた真つ只中。

「このままでもいいのだろうか」と疑問を抱いていた矢先、東京の百貨店での物産展で、全国町並み保存連盟の会長を務めていた五十嵐大祐さんと出会うことになりました。村上は城下町の歴史と価値という素晴らしいものを残している町。近代化で道路を広げて成功している地方の商店街なんて全国に一つもない。と、五十嵐さんとの出会いが、村上の価値を見つめ直す機会になりました。

古いものを生かして、町を活性化さ

PROFILE Kikkawa Shinji

1964年村上市生まれ。千年鮭きつかわ社長、村上町屋商人会会長、黒塀プロジェクト事務局、むらかみ町屋再生プロジェクト会長などを務める。市民主導で独自のまちづくりを推進し、全国から注目を集める。



*Walking Around
The Castle Town Of Murakami*

城下町・村上の町を歩く

MURAKAMI

町屋造りの通りを歩けば、
暮らしの中に息づく村上の文化が見えてくる

史跡・建造物
HISTORIC SITES & BUILDINGS



むらかみじょうあと
村上城跡

data 新潟県村上市二之町
Pあり
問:村上城跡保存育英会
tel.0254-52-2003

歩いてめぐると楽しい
城下町の町並みを堪能



城下町・村上の町を散策し、 歴史と文化に触れる

日本海に面した新潟県の最北端にある村上市。村上城の石垣が残る、臥牛山(がぎゅうざん)山頂の天守閣跡からは旧市街と三面川(みおもてがわ)、日本海を一望できる(写真)。市内中心部に位置する旧村上町は、1620年に整備された県内最古の城下町。日本全国に城下町は残されているが、村上は城下町の四大要素である「城跡」・藩政時代に建てられ移築・復元された「武家屋敷」・町人たちが暮らしていた「町屋(まちや)」・寺院が集まった「寺町」がそろっている希少な町だ。

江戸時代の村上藩が行った茶の栽培、村上木彫堆朱(むらかみきぼりついしゆ)、織物、鮭漁など現在まで受け継いできた伝統産業をはじめ、城下町の面影を残す町屋造りの商店、古刹や国の登録有形文化財の歴史的建造物など、訪れたい場所がたくさんある。

さらに城下町の新しい楽しみ方を広げたのが、町屋に暮らす村上の人々の歴史や生活に触れるイベントと城下町の歴史をいかした町並みの整備。春の「町屋の人形さま巡り」、秋の「町屋の屏風まつり」は全国からリピーターが訪れるほど大人気のイベントだ。昔ながらの黒塀に修景した「黒塀通り」や商店を昔ながらの町屋の外観へ再生するプロジェクトも全て市民による手作り。城下町の新たな町づくりに取り組み、観光客にも地元の人にも町歩きを楽しむを味わわせてくれる心意気がうれしい。

町歩きメインは小町から大町、上町へ続く「越後村上町屋通り」。村上名産の鮭加工品や地酒を扱う店、和菓子店や甘味処、村上木彫堆朱の店など町屋造りの老舗が軒を連ねる景観は、初めて訪れる人にも懐かしさを感じさせる。地元の人におすすみを聞くと「村上の料理と地酒は絶対!」「町や小路の名前をチェックするのもおもしろい」「北限の茶処だからお茶屋さん巡り」など実に様々で楽しみ方は幾通りもある。ゆったりとした時間が流れる城下町の魅力を歩いて体感しよう。

3 | 2 | 1

1 江戸時代からの技を受け継ぐ、伝統工芸品・村上木彫堆朱は必見 2 町屋造りの店舗が並ぶ、越後村上町屋通り。内部を見学できる店もある 3 全国からリピーターが訪れる人気イベント「町屋の人形さま巡り」は今年25年目を迎えた





Walking Around
The Castle Town Of Murakami

MURAKAMI

村上の町を歩こう ① 村上木彫堆朱会館

伝統技法を守る
職人の手仕事を見る



工房見学から体験まで
堆朱文化の魅力を満喫

村上市の伝統工芸、村上木彫堆朱は、木地(木製品)に繊細な彫刻を施し、そこに漆を何回も塗り重ねて仕上げる独特の技法の漆器。平安時代から良質の天然漆を多く産出した村上の地で、江戸時代、藩主の推奨もあり町民にまで広まり盛んになった歴史を持つ。一番の特徴は、天然漆を重ねた後に、木粉や砥の粉を用いて平らに研ぐつや消し工程で、全国でも仕上げにこの工程を行う漆器は村上木彫堆朱だけ。1955年に新潟県無形文化財、1976年に国の伝統的工芸品に指定されている。

こちらの施設では村上木彫堆朱の工房見学や体験、作品の展示販売を行う。1階ギャラリーに市内の漆器店8店と村上堆朱事業協同組合の製品を展示。堆朱以外に黒堆黒(くろついでく)、三彩彫(さんさいぼり)など、全

6種の村上木彫堆朱の魅力を発見できる。2階ではガラス越しに彫刻を施す彫師と漆を塗る塗師の手作業を見学。職人から直接指導を受けられる予約制の「彫りの体験講座」も貴重な旅の思い出に。「県内・県外の人へ知名度を上げていきたい。村上の漆器は高価なイメージがありますが商品を見てもらえれば納得できるはず」と塗師で村上堆朱事業協同組合理事の菅原豊さん。



村上堆朱事業協同組合 理事
菅原 豊さん
Sugawara Yutaka

ここ村上で50年近くに渡り漆塗りに携わる、塗りの匠。平成5年、日本の伝統工芸職人の中で卓越した技術を持つ者だけに与えられる「伝統工芸士」に認定。みずから漆器を製作しつつ、村上木彫堆朱の普及や後継の指導にも努めている。

村上駅～ 村上城跡周辺 MAP



産業 LOCAL INDUSTRY
むらかみきぼりついでくいかん
村上木彫堆朱会館
data 新潟県村上市松原町3-1-17
tel.0254-53-1745
平日9:00～16:00(土日祝は10:00～)
祝休(1～2月は土日祝休) 入館料:無料 Pあり

3	1
4	2
5	

1100%手作業で仕上げている村上木彫堆朱 2塗る漆も天然素材。村上木彫堆朱会館2階では、これら「彫り/塗り」に向かう職人の様子を見学できる3漆を塗る前の彫りを施した大皿 4シックで落ち着きある仕上がりで、手作りゆえに同じ品は二つとなし。村上木彫堆朱は長く使いたい逸品だ 51階ギャラリーではさまざまな堆朱商品を展示・販売する

村上の町を歩こう ②

黒塀通り

城下町らしさを残す通りに
黒塀の風情ある景観を再生

村上市の旧町人町(きゆうちようじんまち)から寺町へ抜ける安善(あんぜん)小路の周辺は、村上の中でも城下町らしさが残っているエリア。通りには江戸時代の1655年に建立された安善寺や、日本一大きい土蔵造りの本堂を持つ重要文化財の浄念寺、老舗割烹などが点在。小路を抜けると石垣と黒塀に縁どられた親不孝坂にたどり着く。この小路では「昔ながらの黒塀を市民の手で復活させよう」と2002年から「黒塀プロジェクト」がスタート。市民の手で町並みを整備しながら昔ながらの風情溢れる黒塀の景観を作り上げた。城下町の歴史に思いを馳せながら歩きたい。

2 | 1

1存在感を放つ、安善寺の二階造りの桜門 2約420メートルにわたり黒塀が続く

黒塀通り

史跡・建造物 HISTORIC SITES & BUILDINGS

data 新潟県村上市小町
問:村上駅前観光案内所
tel.0254-53-2258



城下町の趣深い 町並みが迎えてくれる





代表取締役
小林久作さん
Kobayashi kyusaku

堆朱のふじい3代目。建築設計事務所で設計士の仕事をしていたが奥様の実家である藤井漆工に入社する。「当初は塗師もやっていましたが漆がぶれがひどくて大変でした(笑)」。村上木彫堆朱に関わり、魅了されて15年。



女性に人気の牡丹唐草の姫鏡(左7,000円)、桜の姫手鏡(右7,500円)

「時代とともに村上木彫堆朱は装飾品として楽しむ文化から日用品として

使う文化に変化してきました。現代のライフスタイルにマッチする商品の企画・デザインに取り組み、気軽に生活に取り入れることを提案しています。暮らしの中に朱色があると心が和みま

日々の生活に寄り添う 村上木彫堆朱を提案

堆朱のふじい

村上の町を歩こう ④

1920年、宮大工だった先代が箱を作る木地師(きじし)として村上木彫堆朱に携わり100余年。木地師・彫師・塗師の職人とともに村上木彫堆朱の製作・販売を行う藤井漆工の堆朱専門の販売店。飾盆(かざりぼん)、花瓶、家具、茶器・茶道具などの伝統的な製品のほか酒器、手鏡など旅のおみやげにしたい小物類まで豊富にそろ

う。緻密な彫刻と漆を塗り重ねた美しい色合いの品々は圧巻!

「時代とともに村上木彫堆朱は装飾品として楽しむ文化から日用品として

使う文化に変化してきました。現代のライフスタイルにマッチする商品の企画・デザインに取り組み、気軽に生活に取り入れることを提案しています。暮らしの中に朱色があると心が和みま



「北限の茶染」と 町屋の魅力を体験



1 使い込まれた道具たちが並ぶ工房。長い歴史を感じながら体験ができる 2 国の登録有形文化財の茶の間 3 完成するまで模様がわからないのが茶染めのおもしろさであり、魅力 4 14代目店主の山上あづきさんからアドバイスを受けながら作業。1時間30分ほどで完成

村上の町を歩こう ③

山上染物店

伝統的な印染(しるしぞめ)を守る、町屋造りの染物店

360余年の歴史を持つ染物店。180年前に建て替えられたが、江戸時代の町屋建築の面影を残す茶の間部分(村上では応接間を茶の間という)が国の有形文化財に登録されている。すすけて黒くなった壁や黒光りした太い染色工房。日本の伝統技法「印染(しるしぞめ)」でのぼりや法被(はっぴ)、手ぬぐいなどを昔ながらの手法と道具で染めている。その多くの工程は手作業だ。「家族でやっている小さな染物屋です。大量生産はできませんが、図

案から染めまでひとつひとつ丁寧で作っています」と14代目の山上あづきさん。「登録有形文化財の町屋をたくさんの人に見てほしい」と、営業時間中は町屋の見学もさせてもらえる。オリジナルの「北限の茶染(ちやぞめ)」は独特の渋い色合いが特徴。「村上茶を使った草木染めで、30年前に父が村上らしい特産品として考案しました。製茶時にふるいから落ちた捨てる粉茶を染料に利用します。染めた後のお茶殻は茶畑の堆肥に再利用し、村上らしい循環型染色を実現しています(笑)」。事前予約制でハンカチや型染フレームの北限の茶染体験も実施して



好きな柄の布を1枚選び、好きな色を筆で塗って染めていく。村上茶で染めたオリジナルのフレームは旅の記念になる

産業 LOCAL INDUSTRY



やまがみそめものてん
山上染物店
data 新潟県村上市者町2-17
tel.0254-52-3570
9:00~17:00
水、第4日休
茶染体験料:2,000円~(要予約)
Pあり



1 店舗2階の工房では塗師さんが彫刻された模様を漆でつぶさないように注意しながら刷毛で塗り上げていた。木地師・彫師・塗師を抱える店は村上でもこちらだけ 2 伝統的な飾盆や硯箱(すずりはこ)まで見応えあり 3 小さな作品でも眺めているだけでうっとりする存在感

産業 LOCAL INDUSTRY



ついでふじい
堆朱のふじい
data 新潟県村上市鍛冶町3-6
tel.0254-53-1666
9:00~18:00(土日祝は~17:00)
不定休 Pあり

美しい工芸品を 日常使いする喜びを



町屋をめぐる季節のイベント

村上の春の風物詩
人形さまと町屋歩き

町屋の人形さま巡り 毎年3月1日～4月3日



各家に代々受け継がれてきた「人形さま」を町屋に展示し、人形さまとともに町屋の生活空間を公開するイベントとして2000年にスタート。今では村上の春の風物詩に。25周年を迎えた今年は、68軒の町屋が参加し、約4千体の人形さまが展示された。ひな人形をはじめ、武者人形や土人形など、多彩で多様な人形さまをゆっくり見ていると予想以上に時間が経ってしまったため、リピーターも多い。



生活文化
LIFE CULTURE

まちやのにぎようさまめぐり

data 2025年3月1日(土)～4月3日(木)

会場:新潟県村上市旧町人町一帯

9:00～17:00

問:村上駅前観光案内所 tel.0254-53-2258



幻想的な世界に誘う
竹灯籠の灯りと音楽

むらかみ宵の竹灯籠まつり 毎年10月12日・13日

城下町の情緒漂う小町通りと「黒塀通り」と呼ばれる安善小路を中心に、約2万本もの竹灯籠を設置。竹灯籠の灯りがゆらゆらと揺れる、幻想的な雰囲気夜の散策に心がときめく。日没後は、灯りに彩られたお寺の境内や料亭で雅楽、和太鼓、津軽三味線といった古典和楽器やピアノ、歌の生演奏が始まり、非日常空間へ引き込まれる。竹灯籠と音楽による、新たな夜の町屋の魅力を体験できる。



生活文化
LIFE CULTURE

むらかみよいのたけとうろうまつり

data 2025年10月12日(日)・13日(祝)

会場:新潟県村上市小町通り・安善小路と周辺地区

点灯16:30～、演奏18:00～20:30

問:村上駅前観光案内所 tel.0254-53-2258



町全体が美術館に
貴重な芸術品を鑑賞

町屋の屏風まつり 毎年9月15日～10月15日



普段は公開していない町屋を鑑賞できるイベント。村上大祭は、かつては「屏風まつり」ともいわれ、祭りのしつらいとして家で屏風を立てる風習があった。今では飾られる機会が少なくなったが、各家には貴重な屏風が残っている。絵や書の種類から大きさ、年代もさまざまな美術的価値の高い屏風をそろえることができるのは城下町だった歴史があるからこそ。まち歩きをしながらアートを楽しもう。



生活文化
LIFE CULTURE

まちやのびょうぶまつり

data 2025年9月15日(祝)～10月15日(水)

会場:新潟県村上市旧町人町一帯 9:00～17:00

問:村上駅前観光案内所 tel.0254-53-2258



Walking Around
The Castle Town
Of Murakami
MURAKAMI

村上の気候風土が
生んだ酒文化を知る



1 試飲を楽しめる和永蔵は観光客に大人気(1杯110円～) 2 緋毛氈(ひもせん)を敷いたひな壇に酒瓶が並ぶ。「町屋の人形さま巡り」開催時には人形さまが展示される 3 過去に仕込みに使用していた土蔵造の益藤蔵(ますとうら)の見学も可能(要予約)



常務取締役
佐藤雅彦さん
Sato Masahiko

村上市生まれ村上市育ち。日本酒はもちろん、お祭りも大好き。合併された14の酒蔵のうちのひとつと一(いちよ)酒店に生まれ、幼い頃から大洋酒造に憧れていた。日本酒に合うおすすめのおつまみは村上名物・鮭の酒びたし。「地球上で一番、日本酒に合うおつまみ!」と大絶賛。



産業
LOCAL INDUSTRY

たいようしゅぞう

大洋酒造

data 新潟県村上市飯野1-4-31 tel.0254-53-3145

和永蔵9:00～12:00/13:00～16:00(土・祝日10:00～12:00/13:00～16:00)

日休 入館料:無料 Pあり

村上の町を歩こう 5 大洋酒造

地酒の魅力を発信する
地元で愛されている酒蔵

村上には昔から酒造りの盛んな土地。大洋酒造は1945年に地元で古い14の酒蔵が合併発足した「下越銘醸株式会社」から1950年に社名を変更。主要銘柄「大洋盛」が誕生した。地元酒米と磐梯朝日国立公園の朝日連峰の雪解け水を水源とする仕込み水で昔

ながらの醸造を守り続ける。淡麗辛口の「紫雲大洋盛」は村上地域限定販売のロングセラー。「料理と一緒に楽しんでほしいので香りを抑え、すっきりとした味わい。ずっと飲み続けていられます(笑)」と常務取締役の佐藤雅彦さん。2011年には「酒づくりの思いを伝えたい」と敷地内に「和永蔵(なごみぐら)」をオープン。精米工場を改装した館内では昔の酒蔵の看板や

酒造りの道具、酒器の展示を眺めたり、大洋酒造の6種の日本酒の試飲も楽しめる(有料)。「1年を通して祭りがあがる村上には、お酒との関わりが深い町。淡麗辛口は上級者向きですがブルーティなお酒や日本酒ベースの梅酒もそろえています。村上のお酒をぜひ、味わって」。和永蔵入口では仕込みに使われる超軟水の井戸水が試飲できる。お酒を飲めない人もどうぞ。



おみやげには和永蔵限定販売の「大洋盛醸出し原酒」(1,100円)を。試飲もできる

村上の風土が育む

北限のお茶を求めて

村上市は「北限の茶処」と言われるお茶の名産地。江戸時代から続く村上茶の歴史と今に迫る。



厳しい新潟の冬、畑は雪で真っ白に。その中で茶樹は力強く育まれ、春の訪れとともにこの地域独特のお茶が誕生する



産業 LOCAL INDUSTRY

富士美園の広大な茶畑。村上の街並みを望めるこの南向きの斜面で、陽光を十分浴びながら茶葉は育つ

栽培から製造販売まで
すべてこの地で担うお茶処

日本茶の産地といえば静岡や鹿児島が有名で、「雪国の新潟でお茶がとれるの？」と思う方も多いだろう。だが、村上茶は、その栽培の歴史が江戸時代にまでさかのぼり、先達の知恵と技を引き継いでこの地域に根ざしてきた産業である。その村上の老舗茶舗、富士美園は明治元年創業。5代目店主である飯島久さんを取材でたずねると、連れていってくれたのは小高い山の上にある広い茶畑。「いいお茶ができる畑には、たつぷりの陽はもちろん、近くに川が流れていることも大事で——。ここはそばの三面川から目に見えない水蒸気が出ていて、その水蒸気の玉を通して茶畑にあたる日光が柔らかくなるんです。あと、新潟の場合は昼夜の



摘まれた茶葉は、工場で「蒸し」→「揉み」の工程を経て十分に乾燥。それが終わると、お茶の原型となる「荒茶」のできあがり

温度差がある分、茶葉が甘くなると昔からいわれていたり、冬場も、村上は海沿いで豪雪地帯でもなく、適度な積雪が茶樹を寒風から保護し、灰色の冬空とともに日光が遮られ、雪の中でじっくり栄養分を蓄えられるのです。そんな環境下で、栽培だけでなく「茶畑と製茶工場、そして店も持ち、お茶の産業が」経済的に成り立つ地域としてはここが日本の北限」と、北限の茶」と呼ばれる由来に言及。まさに地産地消の新鮮なお茶を楽しめる新潟の名所でもあるわけだ。「村上茶のよさをもっとたくさんの方に知ってほしい」と語りつつ、「お茶はペットボトルで飲むような時代になっただけ、いい茶葉を急須で淹れて飲む、あのゆったりとした間も大切にしたいよね。ほら、人間って字は、人に間（ま）と書くでしょう？」と微笑む飯島さん。村上茶は現代人に心のゆとりも伝えてくれる逸品なのだ。

村上茶とは？

村上茶の歴史は、江戸時代初期に村上藩が宇治の茶の実を買入れ、主要地場産業にしようとしたのが始まり。そこから約400年。現在は、商業的な茶産地の北限（日本海側）であることから「北限の茶」と呼ばれ、独特のほのかに甘い優しい味のお茶として知られる。



1 | 2
3

1&2畑で採ったばかりの生茶葉。摘採した時点から酸化酵素の働きによって変化（発酵）が始まるので、可能な限り新鮮な状態で蒸す・揉むなどの処理をして保存に耐えられる乾燥状態に。その荒茶製造を担う専用工場を富士美園は村上市内に有する 3大量生産に向けて機械化されているなかでも、お茶に精通した職人によるチェックは欠かせない



富士美園
取締役会長
飯島 久さん
Iijima Hisashi

明治元年創業の富士美園5代目店主で御年77歳。社長を実子の剛志氏に引き継いだ現在は取締役会長として同社を支える。「村上を愛する男」上名刺に記載するほど郷土愛あふれる大ベテラン。



さかんきつかわ かもんてい
茶館きつかわ 嘉門亭

老舗鮭料理店、千年鮭きつかわが手がける御茶サロン。一家の当主が大切な客人をもてなす風習「亭主の茶」を紐解き、村上ならではの新たなお茶の楽しみ方を提案する。メニューの「亭主の茶」は上煎茶、番茶、焙じ茶の3種類のコース。いずれも一煎から四煎までのお茶と一口菓子が付き、一煎ごとに变化するお茶のうまみや甘み、香りの変化とお点前を存分に楽しめる。茶器には村上木彫堆朱、一口菓子は季節の地場の食材を使うなど、村上の文化・風土へのこだわりも抜かりない。旅籠を改装した趣ある空間と美しい日本庭園も必見。心ゆくまでお茶を堪能するひとときは、今までにない村上茶の世界を広げてくれる。



1 | 2 1「亭主の茶(上煎茶)煎茶四煎と一口菓子五つ」(4,400円)。35分の「特別コース(3,300円)」もある
2煎じた茶葉を食べて味わうといった斬新な体験も楽しめる



data
新潟県村上市大町3-7
tel.0254-75-5711
御茶サロン10:30~17:00(LO16:00)、ショップ9:30~17:00
水木休
席15
Pあり

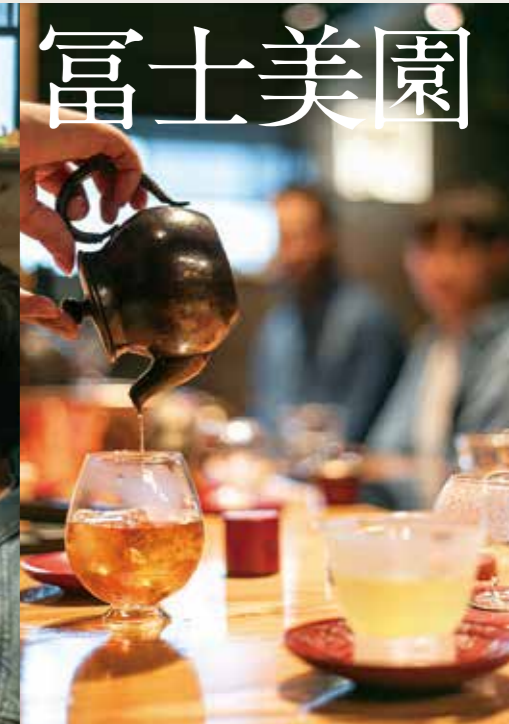


風土が薫り、文化が魅了する
村上茶を独自のお点前で体験

1
2
1代々受け継がれてきた茶器や、一煎ずつ目の前で披露されるお点前も一見の価値あり 2樹々と苔の鮮やかな緑を眺める非日常の空間。メニューには特製ドリンクや一口菓子も用意

特別な空間で、
心行くまで村上茶を味わう

村上を訪れたらぜひ本場のお茶を飲んでみてほしい。村上茶の奥深さを体感できるはずだ。



富士美園

1 | 2 1スタッフから村上茶の歴史や特徴などを聞きながら、急須で淹れるお茶を堪能。煎茶や手もみ茶、雪国紅茶など、村上茶のおいしさと奥深さを味わえるメニューは全9種用意されている 2ホッとはもちろん、アイスでの注文も可

自分で急須から淹れるのが楽しい! 種類も豊富な日本茶カフェ



1 | 2 1お茶とお菓子のセットは940円より各種 2初体験した家族も「香りとうまみがすごい!!」と驚いていた



data
新潟県村上市長井町4-19
tel.0254-52-2716
茶寮カネエイ11:00~17:00(LO16:30)/富士美園店舗8:30~18:30
木金祝休(富士美園店舗は無休)
席8 Pあり



ふじみえん
富士美園

明治元年創業の富士美園は、村上茶の歴史を今につなぐ老舗茶舗。伝統の継承だけでなく、ペットボトル商品化や村上紅茶の復活など時代に合わせた数々の挑戦もしており、2019年に「茶寮カネエイ」なる日本茶専門カフェを店舗奥にオープンさせたのもそのひとつ。大正初期に建てられた元製茶工場を改装した趣ある空間で、村上茶とお菓子のセットを提供(全9種)。スタッフが二煎目まで淹れてくれるが、三煎以降は手ほどきを受けながら来店者自身が急須でお茶を淹れるスタイルだ。煎が進むごとに味の変化を楽しめる、お茶の本場ならではのこの体験。ぜひお試しあれ。

SEKIKAWA VILLAGE Culture Tourism
 えちごせきかわ 桂の関温泉 ゆ〜む
 07 自然・環境 NATURE



関川村で5番目に開湯した桂の関温泉の湯を気軽に堪能できる日帰り温泉施設

さ まざまなお風呂とゆったりとくつろげる空間が自慢。泉質はナトリウム・カルシウム硫酸塩泉等で、神経痛や筋肉痛、疲労回復や健康増進などに効果があるとされる。大浴場、露天風呂、サウナなどが完備されているほか、館内には囲炉裏を囲むふれあいホールや64畳敷きの休憩室などもある。

data
 新潟県岩船郡関川村下関 1307-11
 tel.0254-64-1726
 9:00~21:30 (最終入館は21:00)
 第3水休(祝の場合は翌日)
 入浴料:大人(中学生以上) 700円、子供(4歳以上) 300円 Pあり

SEKIKAWA VILLAGE Culture Tourism
 こうさぎじんじゃ
 08 史跡・建造物 HISTORIC SITES & BUILDINGS



霊峰・光兔山の麓に鎮座し月読尊と光兔大権現大神を祀る神社

8 61年に天台宗の慈覚大師が光兔山を開山。その頂上に光兔大権現を祀ったのが始まりとされる。兎は子孫繁栄や安産の象徴とされ、跳ねる習性から飛躍の御利益があるといわれている。拝殿には二羽の「金箔兎神像」があり、願掛けをしながら金箔を貼ることのできる。願いが成就するのだとか。

data
 新潟県岩船郡関川村宮前 39-4
 tel.0254-64-0095
 9:00~17:00(社務所) 無休 Pあり

MURAKAMI CITY Culture Tourism
 ささがわながれいわふねのいわガキ
 05 食 LOCAL FOOD



村上市は新潟を代表する岩ガキの産地その大きさと濃厚な味わいが特徴

村 上の岩ガキは山北産と岩船産があり、6月に山北地区、7月には岩船地区の海で素潜り漁が解禁となる。村上市は山から海への距離が近く、山水に含まれる豊富なミネラルが海水に流れ込むため、栄養豊富な岩ガキが育つ。旬の時期には多くの観光客が訪れ、地元の味を楽しんでいる。

data
 問:村上駅前観光案内所 tel.0254-53-2258

MURAKAMI CITY Culture Tourism
 おおすどう
 06 芸術・芸能 PERFORMING ARTS



県の無形民俗文化財に指定されている伝統芸能上品で情緒あふれる舞は見る者を魅了する

山 形県鶴岡市の黒川能の流れを汲み、村上市大須戸集落に伝承されてきた民俗芸能。地域の安全や五穀豊稔を祈念する神事能として、また農閑期の娯楽として継承されてきた。大須戸・八坂神社の能舞台にて、毎年4月3日に行われる『定期能』と、『新能』(開催日未定)で鑑賞できる。

data
 問:村上市生涯学習課文化行政推進室 tel.0254-53-7511

MURAKAMI CITY Culture Tourism
 みやおしゅぞう
 03 産業 LOCAL INDUSTRY



受け継がれてきた酒造りに対する真摯な姿勢歴史と風土が織りなす一杯をぜひ堪能あれ

1 819年の創業以来、伝統の技術を守り続ける。地元の清らかな水と厳選された米を使用し、丁寧な手仕事で醸された日本酒は、豊かな香りと深い味わいが特徴。特に代表するお酒『メ張鶴純』は、全国的にも高い評価を受け、上品でバランスの取れた味わいが多くの人に親しまれている。

data
 新潟県村上市上片町5-15 tel.0254-52-5181
 8:30~17:30 不定休 Pあり

MURAKAMI CITY Culture Tourism
 あかかぶづけ
 04 食 LOCAL FOOD



村上市山北地区の伝統農法で育った赤かぶ適度な菌こたえと辛みが自慢

山 間地の杉伐採地を利用した古来の焼畑農法で赤かぶが栽培されている。引き締まった実と鮮やかな色が特徴で、漬物の原料として最適。赤かぶの色素には血液をきれいにする作用があり、健康食としても好評。収穫時期の秋には山北地区にある体験施設で赤かぶ漬け体験も実施している。

data
 問:笹川流れ波物語り受入者協議会(交流の館「八幡」) tel.0254-60-5050

MURAKAMI CITY Culture Tourism
 ささがわながれ
 01 自然・環境 NATURE



澄み切った碧い海と奇岩が織りなす絶景は自然が造り出した雄大な造形美

全 長約11キロにわたる海岸線。透明度の高い海と奇岩や断崖が連なる景観は、日本海側随一の絶景として知られ、国の名勝及び天然記念物に指定されている。夕日の名所としても有名で、夕日が海を赤く染める様子は、訪れる人々に感動を与える。景観を海上から楽しめる遊覧船も運航している。

data
 新潟県村上市寒川~浜新保 tel.0254-53-2258 (村上駅前観光案内所) Pあり

MURAKAMI CITY Culture Tourism
 はこがたはちまんぐうしゃそう
 02 史跡・建造物 HISTORIC SITES & BUILDINGS



社叢は国指定の天然記念物山北地区の産土の神であり山北郷の総鎮守

福 岡宮崎宮の八霊を迎え、921年に建てられた神社。社殿は日本海の荒波を望む、海拔約60メートルの北側に絶壁のある岩山の山頂に鎮座している。この山は神の山として社叢内を保護したため、原始林層が保たれており、カヤ・アサダの大樹は、新潟県内一といわれている。

data
 新潟県村上市勝木 tel.0254-53-2258 (村上駅前観光案内所) Pあり

TAINAI CITY Culture Tourism
 15 胎内クレストーン博士の館・胎内陶芸体験館
 史跡・建造物 HISTORIC SITES & BUILDINGS



珍しい鉱石や鉱物の標本を展示
 鉱物の美しさと不思議を体感しよう

胎 内市をはじめ、日本国内や世界の鉱山で収集した貴重な鉱物を所蔵しているミュージアム。鉱物のコレクションはもちろん、実験道具や書籍などが展示されており、鉱物の美しさや不思議に触れることができる。陶芸体験館では、手びねり陶芸体験やろくろ体験、絵付け体験もできる。

data
 新潟県胎内市夏井1250-30
 tel.0254-48-2011
 9:00~17:00
 (最終入館は16:30)
 営業は4月上旬~11月末の土日祝、夏休み期間(7/25~8/31)
 入館料:一般300円、小中学生150円 Pあり

TAINAI CITY Culture Tourism
 13 奥山荘城館遺跡・江上館跡
 史跡・建造物 HISTORIC SITES & BUILDINGS



中世の東国を代表する荘園跡
 遺跡を通じて胎内の歴史を体感

旧 中条町を中心とした広大な中世の荘園で、城館遺跡や信仰関係遺跡など、関連する13ヵ所の遺跡を合わせて奥山荘城館遺跡として国の史跡に指定された。奥山荘の歴史を学べる奥山荘歴史館では、江上館跡のほか、国の史跡である城の山古墳の出土品を展示している。

data
 【奥山荘歴史館】
 新潟県胎内市あかね町107-10
 tel.0254-47-3409
 (胎内市生涯学習課)
 9:00~17:00
 4~11月の土日祝のみ開館
 入館料:大人100円 Pあり

TAINAI CITY Culture Tourism
 11 黒川郷土文化伝習館
 史跡・建造物 HISTORIC SITES & BUILDINGS



地域の歴史と文化を保存・伝承するための施設
 縄文時代の生活や食文化も学習できる

胎 内市黒川地区の歴史や民俗資料を中心に、縄文時代の漆塗り水差しや、弥生時代の再葬墓出土品、旧黒川村に晩年在住した警女・小林ハルさんの関連資料などを展示。併設する粉食文化体験館では、縄文時代に使われた粉食道具のレプリカを使った縄文料理作りを体験できる。

data
 新潟県胎内市下赤谷387-15
 tel.0254-47-3000
 9:30~17:00
 月休(祝の場合は翌日。営業は4~11月)
 入館料:大人200円、小人100円(粉食文化体験館使用料は大人300円、小人200円) Pあり

TAINAI CITY Culture Tourism
 09 地本のミズバショウ群落
 自然・環境 NATURE



県の天然記念物に指定されたミズバショウ
 一面に咲き誇る白い花は多くの人を魅了する

高 山湿地に自生するミズバショウが、標高5メートル、海岸から2キロにある湿地帯に約2万株群生している。周辺で湧き出る胎内川の伏流水により、ミズバショウの生育に適した多くの条件を備えた貴重な地域となっている。低地のため開花時期は早く、例年3月下旬~4月中旬に見頃を迎える。

data
 新潟県胎内市地本字卯ノ木563-1周辺
 tel.0254-43-6111
 (胎内市商工観光課) Pあり

TAINAI CITY Culture Tourism
 16 胎内自然天文館
 史跡・建造物 HISTORIC SITES & BUILDINGS

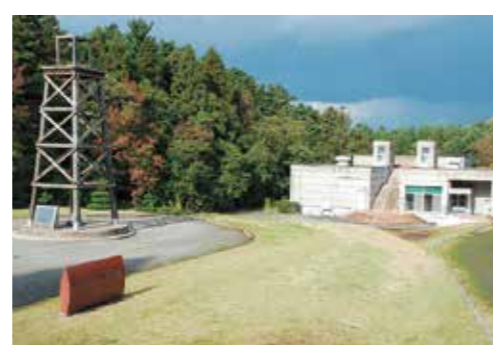


天文に関する展示が充実
 自然や宇宙の不思議を肌で体感しよう

星 をきれいにみるのできる胎内平に立地。県内最大級の60センチ望遠鏡をおさめた観測室では星や月はもちろん、昼は太陽望遠鏡による太陽の観察も可能。開館期間中の毎週土曜・連休日の夜には『星空観望会』も開催している。宇宙に引き寄せられるような感覚を味わってみて。

data
 新潟県胎内市夏井1251-7
 tel.0254-48-0150
 9:00~17:00(夜間公開は毎週土。雨天、曇天時は中止)
 月休(祝の場合は翌日。夏休み期間は無休。営業は4月中旬~11月)
 入館料:大人300円、小中学生150円 Pあり

TAINAI CITY Culture Tourism
 14 黒川石油公園・シンクルトン記念館
 史跡・建造物 HISTORIC SITES & BUILDINGS



日本最古の石油献上の地
 現在も湧き出る原油を目の前で見られる

日 本最古の原油湧出地である黒川石油公園には、明治時代から残る油坪跡や油井戸がそのまま保存されており、今も湧き出す石油やガスを見ることが出来る。黒川油田で採油法を指導した英国人医師シンクルトンを記念した記念館では、石油の採掘や油田の歴史を知ることができる。

data
 新潟県胎内市下館1622
 tel.0254-47-3409
 (胎内市生涯学習課)
 9:00~17:00
 営業は4~11月の予約時のみ
 入館料(事前予約制):
 一般300円、小中学生150円 Pあり

TAINAI CITY Culture Tourism
 12 桃崎浜文化財収蔵庫
 史跡・建造物 HISTORIC SITES & BUILDINGS



歴史が息づく「船絵馬の宝庫」で
 北前船の歴史や当時の廻船問屋の繁栄を学ぶ

船 絵馬とは、北前船の船主や船頭が航海の安全を祈願し奉納したもので、船の構造や乗組員が描かれている。収蔵庫には、国の重要有形民俗文化財に指定された船絵馬85点と模型和船2隻が所蔵され、江戸時代末期の生活を知るうえで貴重な資料を見ることが出来る。

data
 新潟県胎内市桃崎浜239-4
 tel.0254-43-6111
 (胎内市生涯学習課)
 入館料(事前予約制):
 一般100円 Pなし

TAINAI CITY Culture Tourism
 10 乙宝寺
 史跡・建造物 HISTORIC SITES & BUILDINGS



『今昔物語』にも登場する新潟屈指の古刹
 松尾芭蕉も『奥の細道』で参拝

7 36年に聖武天皇の勅願を受けて訪れた行基菩薩と婆羅門僧正によって開山。その際、お釈迦様の左眼を納めたことに機縁し、乙寺と名付けられた後、後白河法皇より眼舍利を納める宝塔を賜り、宝の字を加え乙宝寺となった。境内にある三重塔は国の重要文化財に指定されている。

data
 新潟県胎内市乙1112
 tel.0254-46-2016
 8:30~16:30
 無休 Pあり

赤穂浪士47人中、最強の剣士 堀部安兵衛の菩提寺

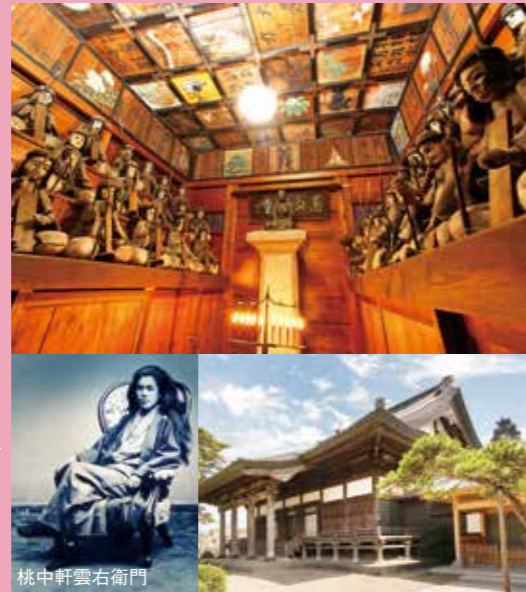
歴史マニアを語るなら、まずは新発田の長徳寺から。堀部安兵衛(ほりべやすべえ)手植えの松が息つき、稀代の浪曲師・桃中軒雲右衛門(とうちゅうけんくもえもん)が寄贈した47体の義士像が安置される長徳寺は、全国の赤穂浪士ファンの来訪が後を絶たない。堀部安兵衛の眠る東京の墓所より分骨を許され、2017年には境内に安兵衛のお墓が建立されています。

ちょうとくじ 長徳寺

data 新潟県新発田市大栄町2-7-22
tel.0254-22-6226 Pあり



史跡・建造物
HISTORIC SITES & BUILDINGS



桃中軒雲右衛門

SHIBATA CORRESPONDENT



吉原写真館 吉原悠博さん

Yoshihara Yukihiko

1960年新発田市生まれ。東京藝術大学油絵科卒、ニューヨークのPratt Instituteに留学。東京中心に活動後、故郷である新発田市に活動の拠点を移し、故郷の史実を題材とした映像作品を多数発表し続けている。140年の歴史を持つ吉原写真館6代目館主。敬和学園大学非常勤講師。

58年間の ジャズ愛に満ちた 伝説の喫茶店

全国にジャズ喫茶は数あれど、著名デザイナー、和田誠がデザインしたロゴを誇るのはBIRDだけ。質感の美しい無垢の木壁には、ジャズプレイヤーのロイ・ヘインズやメル・ルイスの自筆サインも残っています。毎週末には地元の有志によるセッションや熱いライブが繰り広げられています。ジャズを聴くならば、ここ! ぜひ旅の目的にして、お越しください。

バード BIRD

data 新潟県新発田市大手町1-11-2
tel.0254-22-2959
14:00~16:30/19:30~23:30
無休(夜は日祝休) Pあり



生活文化
LIFE CULTURE

明治創業。140年続く写真館

私が6代目館主を務める肖像写真・家族写真専門の写真館です。吉原写真館の歴史は、1870年内科医だった吉原秀齊が新発田藩三条寺町にて写真を撮り始めた時に遡ります。1890年に、現在の場所である新発田町西ヶ輪へ移転しました。現在の建物は和洋折衷で丸窓やタイル貼など幾何学的な意匠を特徴としており、2017年に国の有形文化財に登録。今では貴重な油絵の松井製背景画を使用し、自然光が入る大型傾斜窓のスタジオで幸福な時を永遠に残すお手伝いをしております。

よしはらしんかん

吉原写真館

data 新潟県新発田市大手町2-6-22
tel.0254-22-2056 10:00~17:00(要予約)
月火休(祝の場合は営業) Pあり



史跡・建造物
HISTORIC SITES & BUILDINGS



漆工房 じえむ

鈴木都さん



伝統工芸
TRADITIONAL
CRAFTS



PROFILE Suzuki Miyako

村上市生まれ。実家は村上市片町の川村庚堂漆器店。長岡造形大学で建築を学び、卒業後は東京へ。2002年に帰郷後、村上の職業訓練校と彫師の下で村上木彫堆朱の彫刻技術を学ぶ。店では村上木彫堆朱の箸づくり体験(要予約)も行っている。

町屋を改装した小さな店舗兼アトリエに入る。木彫り作業をする鈴木都さんが迎えてくれる。「いつか小さいお店を持てたらいいなと話していたら、ちょうどいい場所がある」と、この場所を紹介してもらって。2016年、漆工房じえむを開く運びに。店に並ぶのは自身がデザインや彫りを手掛けた漆のイヤリング、ブローチ、ネクタイピンなどのアクセサリー。実家が村上木彫堆朱を製造・販売する店で、父と兄は塗師、母は彫師。「漆が身近にあったので当たり前のように漆の美しさを知っていましたが、知らない人が多い。店を始めたのは若い人に村上の漆の文化を伝えたいから。私が身に付けたいと思うかわいいうアクセサ

リや小物を作ります」。伝統的な村上木彫堆朱の地紋を使い、モダンなデザインに仕上げた作品はプレゼントにも好評。多彩な色漆や細かい模様。「これが漆?」と驚く人や木彫りを行う鈴木さんの手元を見て、「こんな模様の帯留めがほしい」とオーダーする人も。「ゆくゆくは昔ながらの飾盆など、彫りの魅力を表現できる大きな作品も作りたい。オープンから6年、漆の魅力を伝えることはできましたが、次は若い世代の作り手を育てることに注力したい。どうしたら彫師や塗師の仕事に興味を持ってもらえるかを日々、考えています。彫りの技術を磨き、すてきな作品で村上木彫堆朱や漆をもっと盛り上げたいです」。

うるしこうぼう じえむ

漆工房 じえむ

data 新潟県村上市大町3-24 tel.090-4714-4680
10:00~16:00 水休(ほか不定休あり) Pなし



- 1
- 2
- 3

1 店で木彫りをしている鈴木さん。木地に描き込まれた細かい模様は驚く 2 朱漆と白漆のバイカラーブローチ(左・12,000円)、朱漆ブローチ(右上・7,500円)、新作のネクタイピン(各6,000円) 3 漆塗りが艶やかなイヤリング・ピアスも女性に人気



*Visit Historic Gardens And
Architecture*

豪農・偉人が遺した 歴史的庭園と建築を訪ねる

SHIBATA
SEKIKAWA
AGANO

栄華の面影が蘇る場所へ



園内に入り右手にある寄棟造平屋の書院。京間座敷(幅2間・奥行4間半)の庭に面した南側は縁側で開放され、庭とあいまって景観の調和を見せる。季節毎に表情を変える庭園の様を歴代藩主がここから眺めていたのだろう

—— 新発田の偉人 ——



新発田藩初代藩主
みぞぐちひでかつ
溝口秀勝

新発田藩の初代藩主、溝口秀勝は1598年に入封。以来12代直正まで江戸時代を通じて新発田藩を溝口家が治めた。清水園の下屋敷は3代宣直の時代に建築。庭園は4代重雄の時代に築庭された

越後から東北にかけて
他に類を見ない名園

新発田城から南に車で5分ほどのところにある清水園。新発田川に架かる木橋を渡り、鬱蒼とした木々が林立する敷地に足を踏み入れる。大門をくぐって砂利を敷き詰めた歩道を歩き中門をくぐると視界が開け、中央に池を配した美しい日本庭園が広がる。草書体の「水」の文字を描いたという大池泉の畔に茶室が佇む回遊式庭園には、岩島や島に架かる石橋、2段落ちの滝石組、中央に突き出す洲浜があり、西端に岬燈籠を配置。それらを結ぶように回遊路が巡らされている。巧みな遠近法が取り入れられた見事なまでの景観だ。池の周りには、桐庵、夕佳亭、翠壽庵、同仁斎、松月亭という5つの茶室が点在している。各茶室は構造が異なり、それぞれに趣がある。庭園を望むように建てられた書院には、池に面して広く開けた二間続きの座敷があり、かつてここでは能も演じられていたという。そこに座って目の前の庭園に目をやると一枚の絵画のような美しい景観が広がっている。まさにこの景色を、歴代新発田藩主が見ていたと思うと、感慨もひとしおだ。

清水園は、新発田藩溝口家の下屋敷と庭園から構成されている。3代藩主宣直の1666年に屋敷が棟上げされ、4代藩主重雄の時代に幕府茶道方であった縣宗知が江戸から招かれ、1693年に造園。このあたり一帯が清水谷と呼ばれていたことから「清水谷御殿」と称された。池を中心とした回遊式庭園は、十萬石大名の下屋敷にふさわしいもので、その敷地面積は実に4千6百坪。例えるならサッカーコート2面分の広さだ。庭園を囲むようにそびえる薩摩杉や庭内の青森ツガは新潟では珍しい樹木で、希少な樹によって格式をあげようとしたことがうかがえる。春には萌える緑、秋の紅葉、そして冬は雪に覆われ静寂に包まれる。四季折々にその装いを変えるその美しさから、越後から東北にかけて他に類を見ない名園と称賛されていて、2003年には国の名勝に指定された。さらに2005年にはアメリカの日本庭園専門誌「Journal of Japanese Gardening」の「2005年日本庭園ランキング」において第23位に選出されている。

—— 歴史の面影がここにも ——



幕末の武士たちの住居
あしがらながや
足軽長屋

清水園と新発田川をへだてた道筋に建つ、下級武士が暮らした8戸の棟割り長屋。幹線道路沿いに軍事的理由で設置され、当時の下級武士の暮らしを知る上で貴重であることから国の重要文化財に指定。



しみずえん
清水園

data 新潟県新発田市大柴町7-9-32
tel.0254-22-2659
9:00~17:00(11~2月は16:30まで)
無休(6~9月、12~3月は火休)
入園料:大人700円、小中学生300円
Pあり

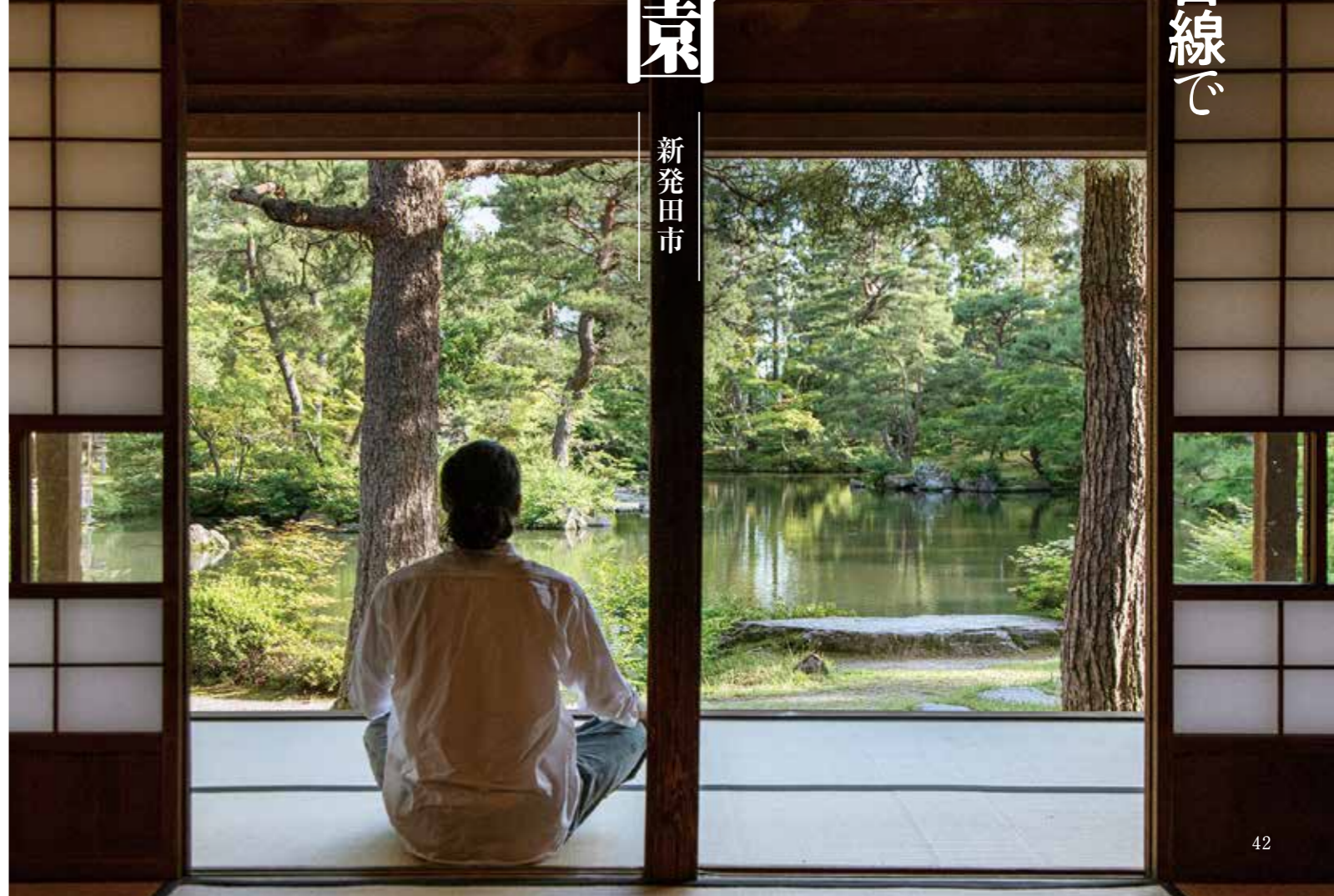


Visit Historic Gardens And Architecture
SHIBATA
SEKIKAWA
AGANO

書院から殿様と同じ目線で
望む庭園の美しさ

清水園

新発田市





さまざまな催し物が開かれた33畳の大広間。天井は四角形と八角形を組み合わせた蜀江組折上格天井。廊下は大理石モザイク張りで、窓の外を流れていた隅田川にちなんだ「都鳥」や「桜」の図案が描かれている。



蔵春閣 施設統括
高橋幸直さん
Takahashi Yukinao

2023年の蔵春閣開館から施設統括を務める。「館内で約7分間の蔵春閣の紹介DVDを放映していますが、それをご覧頂いたうえで、ガイド解説を付けて見学されることをおすすめします。喜八郎の想い、当時の最先端技術を取り入れた建築技術と大倉財閥の底力を感じていただきたいです」。

日本の近代化を牽引した実業家、
大倉喜八郎が過ごした別邸



蔵春閣

新発田市

新発田市の新たな宝！
絢爛豪華な建築にふれて

新1万円札に肖像画が採用されたことと知られる渋沢栄一。その盟友として共にさまざまな事業を手がけた明治・大正の大実業家が大倉喜八郎だ。幕末の新発田で生まれた喜八郎は17歳で江戸に出て、明治期になると教育事業や商取引制度等の導入に尽力。近代日本の経済発展に多大な貢献を果たした。大倉土木組（現大成建設）、札幌麦酒（サッポロビール）、日清豆粕製造（日清オイリオグループ）、東京ホテル（帝国ホテル）、大倉商業学校（東京経済大学）など、喜八郎が手がけ、現在に至る企業や教育施設は枚挙にいとまがない。

新発田駅前に建つ蔵春閣は東京・向島にあった喜八郎の別邸の一部。当時は政財界の大物や海外からの賓客をもてなす迎賓館として使用されていた。大倉文化財団から新発田市に寄贈され、喜八郎ゆかりの東公園に移築。2023年に一般公開に至った。

玄関を入ると、洋風の生活スタイルを取り入れながら和風の意匠が施された豪華な食堂がある。ここでは帝国ホテルのシェフが腕を振るった料理が提供されていた。2階の大広間には、筑波山から昇る月を眺めていたという月見台が設けられ、向島では、廊下側の窓の下に隅田川が流れ、畔に咲く桜の花も楽しむことができたそうだ。近代日本の礎を作った政財界の大物たちが集った迎賓館の空気を感じてみよう。

—— 新発田の偉人 ——



大倉喜八郎

新発田藩出身の大実業家
おおくらきはちろう

1837年、現在の新発田生まれ。17歳で江戸に出て商才を発揮。1873年に大倉商会を設立し、日本における世界貿易の先駆けとなる。その後も多くの企業を設立し、日本の近代化を牽引した。1928年没。享年92歳。

どうしゅんかく
蔵春閣

data 新潟県新発田市諏訪町1-9-20
tel.0254-28-3255
9:00~16:00 木休
入館料:大人500円、小中学生400円
Pなし



3 | 2 | 1

1大陸的な印象の階段の装飾 2食堂と襖で隔てられた書斎。天井を見上げると金地に龍の墨絵、その周りには24枚の鯨の図が施されている 3当時の木造建築としては軒が高く迫力ある造り





1 和傘などが収納された土間の一角。最盛期には75人の使用人が働いていた当時の様子が偲ばれる 2 大広間から見渡す庭園の眺め 3 母屋の屋根は、杉の薄板の上に玉石を置いて押える石置木羽葺屋根。風雨に耐えながらも美しい姿を保ち続けている

2
3
1

—— こちらも訪れよう ——



渡邊家分家の美しい庭園

とうけいえん

東桂苑

史跡・建造物
HISTORIC SITES & BUILDINGS



渡邊家の分家として建築された建物。木造2階建、入母屋造の堂々としたたたずまいで、風情ある庭園との調和が楽しめる。現在は1階がカフェ、2階がコワーキングスペースとして利用されている

data 新潟県岩船郡関川村下関906-2
tel.0254-64-0252 (関川村自然環境管理公社)
9:00~16:00 無休
入館料:大人100円、小中学生50円 Pあり

史跡・建造物
HISTORIC SITES & BUILDINGS

わたなべてい 渡邊邸

data 新潟県岩船郡関川村下関904
tel.0254-64-1002
9:00~16:00
無休
入館料:大人800円 小人350円
Pあり



母屋の南北を貫く広々とした土間は荷物の積み下ろしや商談の場として利用されていた。茶の間、中茶の間、台所が配置され、それぞれの部屋が一段ずつ低くなる独特の造り。身分に応じて履物を脱いで上がる場所を区別していた

渡邊邸

関川村

Visit Historic Gardens And Architecture
SHIBATA SEKIKAWA AGANO

廻船業、酒造業や新田開発で財を築いた豪商・豪農の館

数寄屋風造りの大邸宅と回遊式庭園が人々を魅了

米沢街道の交通の要所として栄えた関川村。街道沿いには国指定重要文化財佐藤家住宅（未公開）、県指定文化財津野家住宅（未公開）、そして壮大な佇まいで人々を魅了する国指定重要文化財の渡邊邸など、当時の風情を今に伝える貴重な建造物が現存している。渡邊邸の創建は1667年。村上藩の郡奉行をしていた初代儀右工門善高がこの地に転居した。地域の発展に大きく寄与したことで知られ、3代善久の時代には財政難に苦しんでいた米沢藩に融資し、その後幕末までに総額十両以上を用立てたという。その功により6代善富以降、同藩の勘定奉行格の待遇を受け、7代善映の時代には四百五十石の土地が与えられた。

そんな渡邊邸は3000坪の敷地に500坪の大邸宅を構える。母屋の内부는数寄屋風の造りで、部屋数は約40室、便所7ヶ所、浴室4ヶ所もある。石置木羽葺屋根という構造の屋根も特徴的だ。木羽と呼ばれる薄い杉板を約22万枚並べ、それを約15000個の川原石で押さえるという手法で作られている。国の名勝に指定されている庭園は、江戸時代中期に京都から遠州流庭師を招いて築かれた池泉回遊式庭園。広さは約1275平方メートルで、心字池を中心に築山を配し、石灯籠や飛び石、橋などを巧みに配置。その石組の見事さで訪れる人々に静寂と癒しのひとときを提供する。また、ここで使われている石は小豆島など西国から北前船で運ばれたもので、歴史的背景も興味深い。渡邊邸は2009年から6年に及ぶ「平成の大修理」を完工。建物の歴史的価値を保ちながら、その美しい姿を今に残し、今後も多くの人を魅了し続けることだろう。

広大な敷地に野趣あふれる日本庭園 明治初期の簡素で優雅な佇まい

福島潟干拓を中心に蒲原平野の開発に努め、北越屈指の豪農として栄えた市島家。新発田市郊外に位置する市島邸は、阿賀野市にあった邸宅が戊辰戦争で焼失したことで明治初期に現在の場所に再建された。敷地面積は約8,000坪、建坪は約600坪に及び、表門や玄関、茶室など十二棟一構が新潟県有形文化財に指定されている。回遊式の庭園「静月園」は野趣に富み、各所に歌碑を配置。池をとりまく樹木は四季を映し、季節ごとの趣が美しい。

 史跡・建造物
HISTORIC SITES & BUILDINGS

いちしまてい
data 新潟県新発田市天王1563
tel.0254-32-2555
9:00~17:00(12~3月は16:30) 水休
入館料:大人630円、小中学生320円 Pあり

市島邸

新発田市




五十嵐邸 ガーデン

阿賀野市

明治大正期の豪農の栄華を リゾートの雰囲気を感じる

歴史的価値のある建物をそのまま結婚式場を利用し、自社製造のクラフトビールが楽しめるレストランなどを備える五十嵐邸ガーデン。この屋敷と庭園は、当地で庄屋を務め、第百十六国立銀行の創設にも関わった実業家、五十嵐家の邸宅を利用したものだ。京都から呼び寄せた庭師によって作庭された池泉回遊式庭園は、広い芝生と苔むした園路が特徴。明治~大正期に建てられた威風堂々とした邸宅は当時の繁栄ぶりがうかがえる。


 史跡・建造物
HISTORIC SITES & BUILDINGS

いからしていガーデン
data 新潟県阿賀野市金屋340-5
tel.0250-63-2100
9:00~18:00 火休
入館料:無料(レストラン利用は要予約) Pあり



広大な池を配した庭園が見事 越後七不思議の伝承も残る寺院

1208年に開基された真宗大谷派の寺院。本堂は、かつて越後の千町歩地主として名を馳せた齋藤家の旧本邸である。見どころは、老樹に囲まれた境内をはじめ五頭連峰を借景とした池泉回遊式の広大な日本庭園。四季折々の風景を楽しむことができる。またこの地には、親鸞聖人が信徒からささげられた焼栗を植えたところ1年に3度実る栗の木が育ったという、越後七不思議のひとつ「保田の三度栗」の伝承も残っている。

 史跡・建造物
HISTORIC SITES & BUILDINGS

こうじゆんじ
data 新潟県阿賀野市保田4626-1
tel.0250-68-2434
9:00~16:00
拝観志:施設維持費として300円
Pあり

孝順寺

阿賀野市

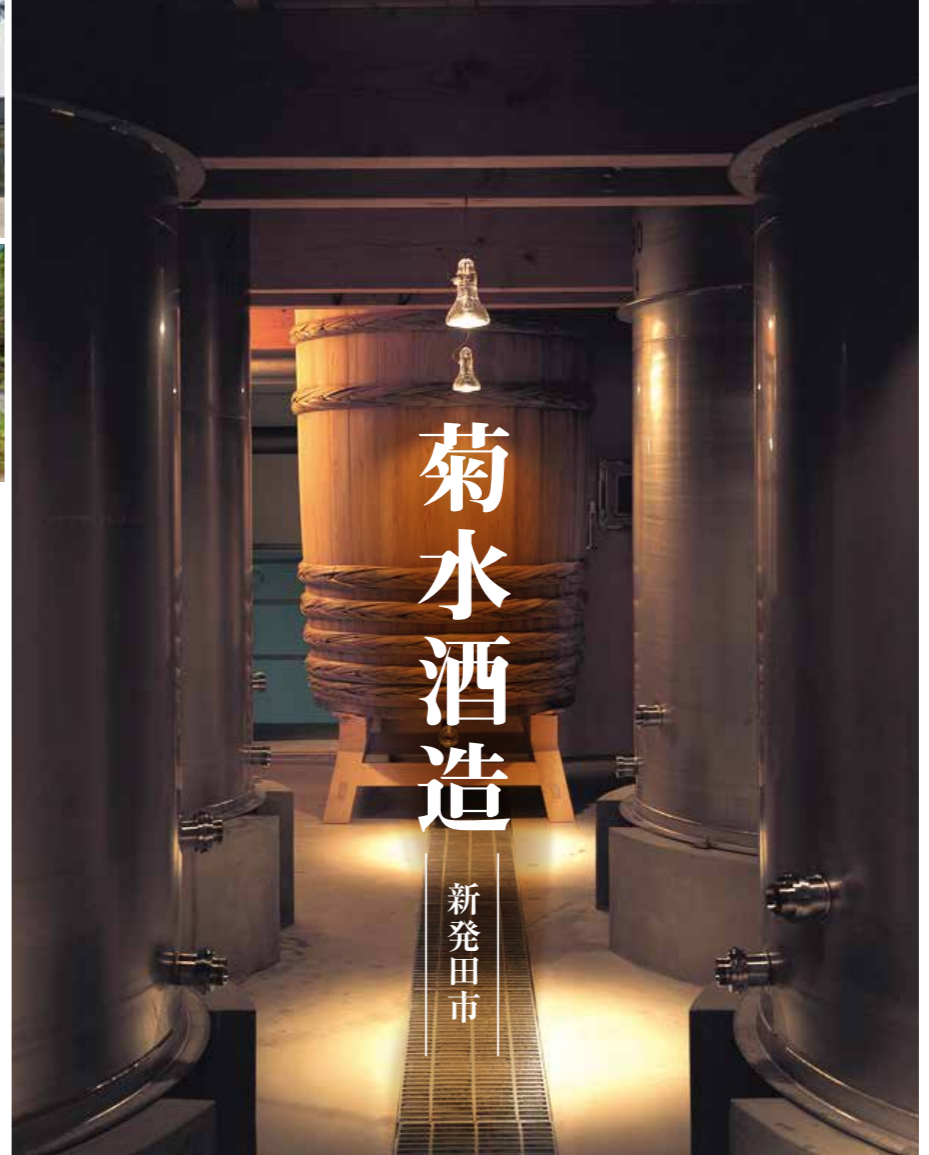


2 | 1
3

1 酒蔵見学は大人気。「節五郎蔵」では昔ながらの酒造りを現在も踏襲している
2 菊水酒造の本社敷地内にある見学施設。日本酒が購入できるショップも併設している
3 菊水庭園は山水の流れや滝を表現した「枯山水」。杉苔が張り巡らされた枯池の周りを飛び石に沿って回遊できる

菊水酒造

新発田市



Visit Historic Gardens And
Architecture

SHIBATA
SEKIKAWA
AGANO

実直な酒造りで知られる名蔵 創業家の庭園を公開

田中泰阿弥による枯山水と
実直な酒造りに触れる

菊水酒造は1881年創業。創業者の高澤家は地域に根差した伝統的な酒造りを受け、その実直な姿勢が、「菊水ふなぐち」、「無冠帝」、「五郎八」などの代表銘柄に反映され、多くの人に愛飲されている。新発田市にある本社敷地内では、伝統的な日本酒の製造方法と貴重な資料や「菊水庭園」と名付けられた美しい日本庭園を一般公開している。「菊水庭園」は、全国有数の庭園の修復を手掛けた庭匠・田中泰阿弥(たなかたいあみ)が更地から作庭した菊水酒造蔵元高澤家の庭園だ。水を用いず大小の石組で山水の流れや滝を表現した「枯山水」で、二度の水害により現在の地に移転を余儀なくされた高澤家の心中を慮り、取って水を用いない庭園にしたといわれている。

「菊水日本酒文化研究所」は、日本酒の愉しさを伝えたい、と設立された資料館。古くから伝わる酒器や貴重な文献、日本酒の知識が深まる資料など、多様な展示物を見ているうちに日本酒のおもしろさと奥深さを知ることができる。さらに注目したいのが「節五郎蔵」。菊水の全醸造量のうち1%の規模ながら、蔵人が五感を研ぎ澄ましたハンドメイドの酒造りを行っている蔵だ。ガラス張りの見学通路から内部を見学できる。運がよければ、洗米や製麹、仕込みなど蔵人が実際に作業する場面に遭遇できる。

—— 日本酒文化に触れよう ——



菊水 日本酒文化研究所

物品資料室では多様な酒器を展示。神に酒を捧げ、杯を酌み交わして交流を深める極上の一献のための酒器の数々を展示している。日本酒に関する文献も閲覧可能。日本酒に対する愛着が深まる施設だ。

 史跡・建造物
HISTORIC SITES & BUILDINGS

 食
LOCAL FOOD

さくすいしゅどう
菊水酒造

data 新潟県新発田市島潟750
tel.0120-23-0101(平日10:00~17:00)
9:30~16:30 月休
見学:無料(月休ウェブサイトから事前予約が必要)
施設リニューアルのため2025年1~4月下旬は見学不可
Pあり



これが関川村の猫ちぐら。価格は10,000円程度より各種



稲わらを1本ずつ編んで作る。予想以上に重く頑丈な作りだ



下記「にや〜む」で猫ちぐらの製作実演を無料で見学できる



せきかわかんこうじょうほうセンター にや〜む

せきかわ観光情報センター「にや〜む」

data 新潟県岩船郡関川村上関1252-1 tel.0254-64-3311
9:00~16:30(猫ちぐらの製作実演は土曜を除く10:00~15:00)
無休 入館料:無料 Pあり

一本一本伸ばし、それを丁寧に手で編んでいく様は、脇で見ても不思議な作業に映る。一個作るのにどれくらい時間がかかるかたずねると、「早い人だと一週間くらい。でも私は、覚えが悪いので(笑)、最初の頃は二週間以上もかかっていましたね」。一日に4〜5時間は作業するケースが多いというから、トータルで相当な製作時間と集中力が必要とされる。「特に、あのやわらかい丸みを出すのが難しいです。型紙とかを当てて作るのではなく、自分の勘と経験で編んでいきま

いのは、作る人の性格が出るみたいで——会の代表の伊藤マリさんは「できあがった猫ちぐらを見れば、作り手が分かる」と言われます。それがいいところでもあるでしょうね。ひとりで作った品でも、同じものはふたつと存在しないという」。

文字通り職人技の結晶と言えそうなお猫ちぐらだが、製作現場には緊張感よりも穏やかな時間が流れているのも印象深かった。「もちろん作る時は皆、真剣です。だけど、ひと息入れたときのみんなとの会話も楽しくて(笑)。世代の近い方が多いし、基本、趣味でやっている人ばかりですから。そばにいたメンバーからも「こういう会は雰囲気が悪かったら続かないって!

ねえ、花子ちゃん？」と笑顔で声がかかる。関川村に住む人たちが、地元传统文化を楽しみながら紡ぎ、それが村の名産品となって全国各地の人に使われていく——「そう、作ったものを日本のどこかで誰かが使ってくれていると思うと、やっぱり嬉しいですよ」と微笑む河内さん。修理やメンテナンスも行うため購入者とは長い付き合いになることが多いとか。作る側も使う側も愛にあふれる中で繋がれている猫ちぐら。興味ある方は、関川村観光情報センター「にや〜む」に問い合わせを。猫ちぐら作りの実演も見学できるので、近くを訪れた際はぜひのぞいてみてほしい。



関川村猫ちぐらの会 河内花子さん

「できあがった猫ちぐらを見れば作り手が分かる、と言われます。それがいいところでもあるんでしょうね。ひとりで作った品で、同じものはふたつと存在しないという」

猫ちぐらとは、天然の稲わらを使い100%手で編みあげた、米どころ関川村に伝わる素材で美しい民芸品。わらは保温性と通気性が高いので、冬は温かく夏は快適。頑丈で耐久性もあるから、愛猫への最高の贈り物として全国的に知られている。もともとこの地域の農家では、幼児の子守りの手間を省くことと安全性を考え、ちぐら(「つぐら」とも呼ぶ)というお椀型のゆりかごをわらで作っていた。それをヒントに、特産品で村おこしをと関川

村の有志が1980年頃から猫ちぐらの製作に着手。1985年には「関川村猫ちぐらの会」が発足して本格的な製作・販売が始まり、平成初期のベストブーム時には年間1000個もの注文が入るほどの人気に。現在は猫ちぐらに関わるほぼすべての業務がこの関川村猫ちぐらの会で行われており、納品まで約1カ月待ちと変わらぬ人気を誇る。ちなみに、会に入れるのは関川村民のみ。まさに地元の人たちの手から手へ、技とともに受け継がれてき

た、古里の心が息づく伝統民芸品なのだ。その関川村猫ちぐらの会の河内花子さんに、猫ちぐらの魅力と製作に向かう思いを聞いた。

今年で67歳という河内さんが会のメンバーになったのは7年前。「実家の義理の姉が猫ちぐらを作っていたんです。で、私も猫が好きだし、家の猫ちゃんになんか作ってあげようかと思っただけできっかけでした」。そんな軽い気持ちで始めた河内さんだが、この取材日も製作の真つ最中で、わらを

PROFILE Kawauchi Hanako

1957年関川村生まれ、関川村育ち。現在は20数名で構成される関川村猫ちぐらの会のメンバー。入会して7年になるが、「まだまだ日々勉強中」と向上心を忘れずに猫ちぐらの製作に励んでいる。

市民の絆を結ぶ

村上の三大まつりへ

村上には「おしゃぎり」と呼ばれる屋台を引く3つのお祭りがある。その代表といえるのが村上大祭。その現場を訪ねた。



本祭りの朝、西奈彌羽黒神社に集合した屋台が連なり、引き回される様子は実に壮観で見ごたえ満点

村上 三大まつり 1 村上大祭

町が活気にあふれる日
村上人の絆が固く結ばれる

毎年7月6日・7日

時折薄日が射すものの、この時期ならではの曇り空と蒸し暑さ。ちょうど日曜日となった2024年7月7日の朝、各町内を出発したおしゃぎりと呼ばれる大きな屋台は西奈彌羽黒(せなみはぐろ)神社に集結した後、行列となり通りを練り歩いてゆく。各町ごとの法被に身を包み、自慢の屋台を囲み歩く人々からは笑顔があふれる。

その様子を沿道で見守っていた高齢の女性が話してくれた。「お正月やお盆に帰って来なくても、この日だけは村上に帰ってくるという人がたくさんいるんです。私も村上の出身だから、今日帰ってきたの。屋台を見れば、昔から受けているのが分かるし、幼い頃を思い出して懐かしい気持ちになる。この気持ちは何歳になっても変わらないものですね。その言葉を聞いて、とても素敵なことだと感じた。

1633年から続く村上大祭は、臥牛山の中腹にあった西奈彌羽黒神社を現在の場所に移したことを祝い、町の人が大八車に太鼓を積んで、それを打ち鳴らしながら練り歩いたことが起源とされる。その後、屋台に彫刻や堆朱塗りを施すようになり、徐々に今のようになつた。毎年7月6日に宵まつり、7日に本祭りが行われ、本祭りの朝には各町内で代々受け継がれてきた19台もの屋台が次々と巡行。なかには200年以上前に作られたものもあり、穏やかで優美な行列を見ることが出来る。2018年には「村上祭の屋台行事」として、国の重要無形民俗文化財に指定。新潟県を代表する歴史のあるお祭りとして一見の価値がある。この日、屋台行列を見ながら感じたのは人と人の絆。「希薄」が当たり前になりつつある現代だが、この地で生まれ、育った人々を結びつける強い絆と郷土愛を感じることができた。

まつり・イベント
FESTIVAL

村上大祭

data 2025年7月6日(日)・7日(月)
会場:村上市羽黒町 問:村上市観光協会 tel.0254-53-2258

注目!

「村上祭の屋台行事」が
ユネスコ無形文化遺産の候補に!



2023年12月に開催された文化庁の文化審議会無形文化遺産部会では「村上祭の屋台行事」がユネスコ無形文化遺産「山・鉦・屋台行事」の拡張提案候補に選定。茨城県北茨城市の「常陸大津の御船祭」、富山県射水市の「放生津八万宮祭の曳山・築山行事」、滋賀県大津市の「大津祭の曳山行事」とともに2024年3月に提案書が提出された。2025年11月頃にユネスコでの審議が予定されている。



鍛冶町

この日のために勉強や仕事を頑張っています。子どもの頃から参加しています、生きがいです!



安良町

人間は生きて100年。このお祭りは400年近くも続く。でも、自分たちが楽しむことで後世に残していきたい



寺町

わたしたちにとってはこのお祭りが1年の締めくくり。久しぶりの友達とも再会できる大切な日です



この祭りを未来へつなぐ! 村上大祭 トークセッション

お祭り大好き! 村上大好き! お祭りばか(誉め言葉)3人に聞く、村上大祭の魅力と未来に向けて。



お祭りを基準にして
一年を生きています(三須)

三九二年続く歴史あるお祭りを
四百年、五百年先へつなぐ(渡辺)

町内の思いをひとつに集める
屋台は心の拠り所(高橋)

●村上大祭での役割を教えてください。
渡辺・村上まつり保存会会長と村上大祭屋台運営委員長です。子どもの頃から祖父にその楽しさを聞いて育ちました。高橋・運営委員会と保存会の事務局員です。村上で生まれ、お祭りが好きだから村上で働きました。子どもの頃からお祭りのワクワクが続いています(笑)。
三須・お祭りとお祭りが好きで市役所に勤めました。4月から保存会に関わる仕事になり、ラッキーですがお祭り当日も仕事になってしまいました(笑)。
●今年の祭りはどうでしたか?
渡辺・天気予報は雨でしたが、晴れてよいお祭りになりました。歳とともにお酒を飲むのがきつくなってきた(笑)高橋・もともと雨乞いのお祭りだから雨が多い。夜にたくさん飲みたいから日中はお酒を控えていました(笑)。
三須・ことは約9万人の観光客が訪れました。私は2日とも仕事(笑)。



村上大祭屋台運営委員会委員長
村上まつり保存会会長
渡辺 明さん
Watanabe Akira

●村上大祭の一番の魅力は?
高橋・村上大祭は西奈彌羽黒神社の例大祭。神様を祝うお祭りです。7日の本祭が終われば「あと364日で祭り」(笑)。季節の行事ごとに神様に感謝し、村上大祭へ思いを馳せる。そういう意味では我々は毎日がお祭り。そこに各町内の屋台が心の拠り所になります。
●お祭りを未来につなげるために、今後の目標や課題を教えてください。
渡辺・391年祭を終え、400年、500年先へつなごうと思っています。村上小学校の3年生が総合学習の一環で村上大祭を学ぶ「ミニ村上大祭」の指導員をやっていますが少子化でこの町内も子どもが少なく、踊り手が減っています。高橋・子どものときは手木(ていぎ)と



村上地域まちづくり協議会
伝統文化部会 部長
高橋 和さん
Takahashi Yawara



村上市教育委員会
村上まつり保存会事務局
三須 友也さん
Misu Tomoya

す。屋台があることで、町内の人たちの思いをひとつに集められる。
渡辺・屋台はみんな心をつなぐに引くからいいんです。私は屋台が曲がるときにゆらりと揺れるだけで美しさに心がざわざわします(笑)。若い村上甚句の唄い手に感動したり。毎回、たくさんの感動があります。
三須・お祭りは人を作り、人と地域をつなげていきます。小さい頃からお祭りに参加して段取りを学び、年上の人たちに接することで社会性が育まれる。自分も子どもの頃から参加してきたからお祭りは生活の一部で人生の大切な一部。高橋さんの言うように祭りの2日間だけでなく、お祭りを基準に1年を生きています。

史跡・建造物 HISTORIC SITES & BUILDINGS



おしやざりかいかん
おしやざり会館
村上大祭で実際に引き回される「おしやざり」と呼ばれる屋台3台に展示用の1台を見学できる。朱漆や金箔を施した豪華絢爛な屋台は圧巻!

data 新潟県村上市三之町7-9 tel.0254-52-1347
9:00~16:30 入館料:大人500円、小中高生250円
(若林家住宅・村上歴史文化館共通) Pあり

呼ばれる屋台の前部分につかまること
が一番の憧れでした。ことは7歳の孫が手木に居させてもらっていました。毎年のお祭りで子どもたちが楽しい体験をすることが後継者育成につながると思っています。あとは資金面。屋台の維持に各町内でお金がかかります。
三須・屋台の維持管理・修理が課題。地元で屋台を修復できる職人がいます。祭屋台等製作修理の技術そのものが国の選定保存技術として認定されており、村上でもそれに匹敵するほどの技術を有する職人が育つてくることを期待しています。
渡辺・課題があっても昔の人は続けてきました。お祭りを守り続けていきたいと思えます。

泉町出身の8代目。村上っ子は屋台の手木に入り、村上甚句を唄ってこそ一人前! 日本酒に合わせたいおつまみは身欠にしん。
小町出身の12代目。東京で暮らした5年間で村上愛がさらに強まった。日本酒に合わせたいおつまみは酢味噌で食べるさらし鯨。
子ども時代は父が商売していた町内、親戚の町内など、多数の町内の屋台を体験。日本酒に合わせたいおつまみは鮭の酒びたし。



PROFILE
Otaki Junko

埼玉県出身。東北芸術工科大学で工芸を専攻。卒業後は現代アート作家として活躍。2015年に村上市山熊田地区に移住。その後、マタギの男性と結婚。昔から織られてきたシナノキの樹皮を原料とした古代布、しな布の作り手として活動する。



シナノキの樹皮から採れる繊維で糸を作り織り上げる。ざっくりとした手触りで張り感のある生地が特徴で、わずかに光沢を持つ上品な風合いも魅力だ

皮を剥ぐ作業から始まり、乾燥や煮出し、糸づくり、そして織り機を使っての織り。しな布ができるまでには多くの工程があり、樹皮から布になるまでおよそ1年を要する。「原始的だけれど理にかなっている作り方で、これ以上のSDGsはないです(笑)」。

織り上げたしな布は着物の帯やのれん、バッグやポーチとなり販売されている。「しな布が活きる使い方やシーンを模索しています。いろんな使われ方があっていいし、その可能性を増やすことこそが存続への道。また、担い手の育成も急務だ。「しな布がおもしろいと思う人を増やしたい。この土地でしか生まれない、山熊田の暮らしそのものが詰め込まれた美しい布を大切にしていこうと思います」。

やまぐまどうぼう
山熊田工房
data 問:yamakumada_kobo(インスタグラム)



購入して体感!



生活文化
LIFE CULTURE

羽越しな布 大滝ジュンコさん

BUNKA-BITO 次世代の担い手

「この土地でしか生まれたい、山熊田の暮らしそのものが詰め込まれた美しい布を大切にしていこうと思います」

村上市と、お隣・山形県の鶴岡市との県境の山里で作られている羽越しな布(うえつしなぶ)。羽前(山形県庄内地方)の「羽」と越後の「越」からこの名が付けられた。村上市の中でも冬は雪に閉ざされ、マタギの里としても知られる山熊田集落で、羽越しな布を継承するのが大滝ジュンコさんだ。

「嫁いできた頃、すでにこの文化が途絶えようとしているのが明らかでした。わたしの姑を含め、おばあちゃんたち数人でしか作っていませんでした。でも、それをだまっただけで見ていたわけにはいなくて、技術だけは身に付けようと思い、姑に習い始めたんです」。

梅雨の頃に原料となるシナノキの樹



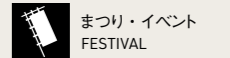
- 1 手提げと肩掛けの2ウェイで使えるバッグ(各58,000円) 2「織りは一番楽しい作業」と大滝さん。いかに美しく織れるかが、おもしろさでありやりがいだという



村上
三大まつり
2
瀬波大祭

毎年 9月3日・4日

食べ物を司る保食神(うけもちのかみ)を祀る、西奈彌(せなみ)神社の祭礼。海辺の漁師町らしい活気あるお祭りとして、約1200年にわたり受け継がれてきた。4日の本祭では、神霊を移した神輿とともに浜町、中町、上町、新田町、学校町の屋台5台が続き、瀬波の町内を引き回す。夜8時には、提灯に灯りをもした5台の屋台が瀬波浜町の坂の下に集まり、若衆が自慢の「木遣り唄(きやりうた)」を披露。勇壮でテンポの速い唄に聞き惚れているとお祭り最大のクライマックスへ。唄が終わり、西奈彌神社を目掛けて坂道を一気に駆け上がる雄姿に観客からも大きな歓声があがる。



せなみたいさい
瀬波大祭

data 2025年9月3日(水)・4日(木)
会場:新潟県村上市・瀬波地域一帯
問:村上駅前観光案内所
tel.0254-53-2258

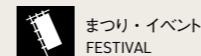


村上
三大まつり
3

岩船大祭

毎年
10月18日・19日

祭神が石の船に乗ってこの地を訪れた伝説に由来する、石船(いわふね)神社の祭礼。伝説に基づき、「お舟様」が祭礼のシンボルとして敬われているのが、栄えてきた港町のお祭りを象徴している。「船魂祭(ふなだまつり)」とも言われ、1988年、新潟県無形民俗文化財に指定された。19日の本祭で祭礼行列の先頭に行くのは、漆を何度も重ねたお船様に乗せた屋台。村上传統の堆朱や堆黒に彫刻、金箔を施された豪華絢爛な9台の屋台が「木遣り唄」に合わせて町中を巡行する様子は迫力満点。お祭りは夜まで続き、深夜0時、お舟様と白駒が石船神社に帰る「とも山」を見届け終了となる。



いわふねたいさい
岩船大祭

data 2025年10月18日(土)・19日(日)
会場:新潟県村上市・岩船地域一帯
問:村上駅前観光案内所
tel.0254-53-2258



ふるさとの温もりを心に描く 新潟県北温泉三昧

北越後に自然と歴史が息づく名湯あり。心を解きほぐす湯の旅へ出掛けよう



温泉 data

源泉温度: 51℃
宿泊施設: 24軒
泉質/効能:
含硫黄・ナトリウム・塩
化物泉/神経痛・筋
肉痛・関節痛・五十
肩・運動麻痺・関節
のこぼり・打ち身、
糖尿病、美肌 など

新潟市街地から車で約40分。広大な田園風景が広がる越後平野を東に進み、山あいに見えてくるのが月岡温泉だ。どこからともなく硫黄の香りが届くと、豊富な湯に恵まれた温泉地にやって来たことを実感できる。温泉好きならば、すぐさま風呂に向かいたい気持ちがかき立てられること間違いない。群馬県の万座温泉に次ぎ、国内2番目の硫黄含有量を誇る月岡温泉の湯は、硫黄泉としては珍しい弱アルカリ性。柔らかな湯が肌を優しく包み込み、肌色を明るくさせる作用があることから「美人になれる温泉」として古くから親しまれてきた。エメラルドグリーンを呈した湯の色もまた、訪れる人の心を和ませている。季節や気候条件によつては、湯の色が乳白色に変化する日も。「昔の人たちはお湯の色を見て翌日の天気を予想していたもんだ」と地元の人には話す。月岡温泉は「歩きたくなる温泉街」としても今、全国から注目が高まっている温泉地。湯の香りに包まれながら、カランコロンと下駄を鳴らして町歩きを楽しむのも趣深い。



自然・環境
NATURE

白玉の湯 華鳳 しらたまのゆ かほう



6千坪の庭園に囲まれた大型旅館。ラグジュアリーホテルと日本旅館の機能を兼ね備え、幅広い世代から支持されている。広々とした回遊大浴場のほか、自家源泉・白玉の湯を堪能できる露天風呂で旅の疲れを癒やして。

data 新潟県新発田市月岡温泉134
tel.0254-32-1515
宿泊料金:1泊2食付27,500円～
(2名利用時の1名料金、入湯税別)
Pあり

月岡温泉

硫黄が香るエメラルドグリーンの湯

湯の香に包まれながら
真の美しさを引き出す

つきおかおんせん

「大里峠伝説」 ～物語も、宝物～

関川村を代表するお祭り、大したもん蛇祭りの由来でもある「大里峠伝説(おおりとうげでんせつ)」は、奥が深い。私は村民作の紙芝居で知りましたが、古くは江戸時代の人気作家、十返舎一九、最近ではYouTuberに、さまざまな形で何度も語り直されています。この伝説に関連する絵やオブジェが村の随所で見られます。関川村の歴史と深く結びついていて、村の大切な財産であるこの物語を目印に村めぐりはいかがですか? 歴史探索の旅はここからスタートがおすすめ!

YouTuber のアニメも、要チェック! ▶▶▶

せきかわれきしとみちのやかた

せきかわ歴史とみちの館

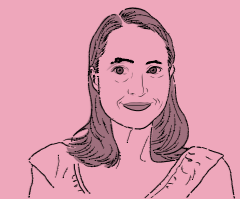
data 新潟県岩船郡関川村下関1311
tel.0254-64-1288
10:00～16:00
月休(祝の場合は翌火休)
入館料:大人300円、小中高生150円
Pあり



史跡・建造物
HISTORIC SITES &
BUILDINGS



photo_川又正男 提供



フリーランスライター
川崎パトリシアさん

Kawasaki Patricia

アメリカ合衆国出身。関川村在住の5児の母。仕事はフリーランスライターで趣味は地域おこし。著書に「天と地のかけはし:写真とエッセイでつづる関川村での10年間」や「月の影:せきかわ故郷マンガ 観音公園・井戸観音伝説」など。

和ぐるみは寒んび日のごっつお!

雪深い関川村では、和ぐるみは昔から冬でも楽しめるごちそうの食材。山菜のくるみ入り白和え、お正月に食べるくるみ雑煮やくるみ餅、どれも絶品です! 甘みとコクが相まって作り出す素朴ながらも贅沢な味わいがクセになります。山間地での暮らしはラクではありませんが、自然が与えてくれる四季折々の恵みから、何物にも代えがたい豊かさを感じます。関川村の季節の食材のお買い求めはこちらどうぞ。

みちのえきせきかわ ちぐらん・あいさいいち

道の駅関川 ちぐら館・あいさい市

data 新潟県岩船郡関川村下関1260-4
tel.0254-62-7833
9:00～17:00
毎月第3水休(祝の場合は翌木休。1・2月は毎週水休)
Pあり



食
LOCAL FOOD



カルタで遊ぼで! 方言の魅力、楽しく伝承

「ぼっかりもちをもちだ」。さて、どういう意味でしょうか。方言って、意味がわからなくても、あたたかくて聞き心地がよいですね。大切な村ことばが、お年寄りの代で消えてしまったらもったいない。そんな気持ちから作られたのは、関川村ことばカルタ「かあちゃん遊ぼで!」。遊んで、笑いながら「思いがけなくおいしいものをもらった」時の「ぼっかりもち」など、すてきな方言との出会いをどうぞ! 道の駅関川にて販売中。

かあちゃんあそぼで!

『かあちゃん遊ぼで!』1,000円

data 問:teamえぶり
tel.090-5818-4050



生活文化
LIFE CULTURE



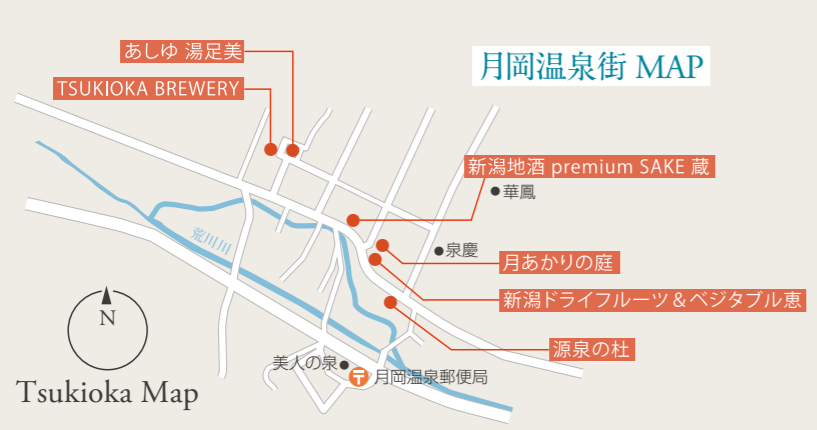


湯の香りに誘われて 月岡温泉街を歩く



1 おちょこ3杯 (600円) でプレミアムラインの日本酒の試飲ができる「蔵」 2 演舞場を囲むように配置された回廊型の足湯。中央には手湯もある 3 美肌と縁結びを願うパワースポットにもなっている 4 写真のグラスはTSUKIOKA BREWERYの「月岡エメラルドエール」。ほか、さっぱりとした飲み口の「湯上がりペールエール」も人気 5 約35種類のドライフルーツとベジタブルを用意する「恵」。お土産用商品もあり

「あしゆ 湯足美」へと続く石畳が敷かれた「湯の町通り」。夜の月岡温泉街は優しい灯りに包まれている



BREWERY」といった酒ファンを虜にしているお店だ。ほか、新潟県産の食材を使用したドライフルーツやベジタブルを詰め放題で購入できる「恵」も、湯上がりのおやつを買いたい求める女性客やファミリーで賑わっている。宿へ戻る前に「あしゆ 湯足美」で足の疲れを取り、和柄のデザインがほどこされた行灯が立ち並ぶ「月あかりの庭」に寄り道。フォトジェニックな光景にうっとりしながら夜空を見上げたら、満月が温泉街を明るく照らしていた。

風情と豊かさを感じる
歩きたくなる温泉街



白玉の湯 泉慶 女将
穴澤 恵子さん
Anazawa Keiko

若手経営者らで立ち上げた合同会社ミライズの代表としても活躍中。月岡温泉街の魅力向上を図っている。



つきあかりのにわ
月あかりの庭
data 新潟県新発田市月岡温泉456-1
無休 Pあり
問:月岡温泉旅館組合
tel.0254-32-2975



あしゆ ゆたび
あしゆ 湯足美
data 新潟県新発田市月岡温泉552-22
8:00~21:00 無休 Pあり
問:月岡温泉旅館組合
tel.0254-32-2975



にいがたドライフルーツ&ベジタブル めぐみ
新潟ドライフルーツ&ベジタブル恵
data 新潟県新発田市月岡温泉534
tel.0254-32-1101
9:00~12:00 / 13:00~18:00
火・金休 Pあり



ツキオカ ブルワリー
TSUKIOKA BREWERY
data 新潟県新発田市月岡温泉552-111
tel.0254-28-9161
10:00~17:00
木休 Pあり



にいがたじざけ プレミアム さけくら
新潟地酒 premium SAKE 蔵
data 新潟県新発田市月岡温泉566-5
tel.0254-32-1101
9:00~12:00 / 13:00~18:00
木休 Pあり



げんぜんのもり
源泉の杜
data 新潟県新発田市月岡温泉378
5:00~21:00 無休 Pあり
問:月岡温泉旅館組合
tel.0254-32-2975



温泉 data 源泉温度: 54℃ 泉質/効能: ナトリウム-塩化物-硫酸塩泉 / 神経痛、筋肉痛、関節痛、五十肩、きりきず、やけど、慢性皮膚病、虚弱児童、慢性婦人病 など 宿泊施設: 2軒

自然・環境 NATURE

たかのすおんせん つりばしとはなれのやど たかのすかん

鷹の巣温泉 吊橋と離れの宿 鷹の巣館



磐梯朝日国立公園内にあるつり橋の向こうに建つ宿。9室ある離れのうち、8室には自家源泉かけ流しの露天風呂を完備。荒川峡の景観と良質なお湯は温泉ファンから高い評価を得ている。「日本秘湯を守る会」会員。

data 新潟県岩船郡関川村湯沢1072 tel.0254-64-1009 宿泊料金:1泊2食付25,300円～(2名利用時の1名料金、入湯税別) Pあり

山河に囲まれた 5つの湯 えちごせきかわ温泉郷

高瀬温泉 たかせおんせん



田園風景が広がるのどかな環境に宿が点在する温泉街。荒川の雄大な流れに沿って満開の桜が咲き誇る春の風景は圧巻だ。足湯「薬師の湯」や水戸浪士関鉄之介記念碑などを巡り、周辺の散策もゆっくり楽しみたい。

温泉 data 源泉温度: 72.3℃ 泉質/効能: ナトリウム-塩化物-硫酸塩泉 / 神経痛、筋肉痛、関節痛、五十肩、運動麻痺、関節のこわばり、打ち身 など 宿泊施設: 7軒

桂の関温泉 かつらのせきおんせん



えちごせきかわ温泉郷で5番目に開湯した温泉。旅館や民宿はなく、道の駅 関川に併設された日帰り入浴施設「ゆ〜む」のみで源泉を利用している。大浴場や露天風呂、サウナといった充実した施設で気軽に入浴を楽しめる。

温泉 data 源泉温度: 74.5℃ 泉質/効能: ナトリウム-カルシウム硫酸塩泉等 / 神経痛、筋肉痛、関節痛、五十肩、動脈硬化症、切り傷、慢性皮膚病 など 宿泊施設: なし



関川村観光協会 渡邊はづきさん Watanabe Hazuki

湯量豊富な温泉と地元の人の温かさ、美しい景観といった関川村の魅力を広く発信している。

清流と山々が育む 澄明な湯に惹かれて

山形県との県境にある関川村のえちごせきかわ温泉郷。四季を通じて美しい表情を見せる山々と「平成の名水百選」に選定された清流、荒川が織りなす、山紫水明の湯の里だ。温泉郷は鷹の巣、高瀬、雲母、桂の関、湯沢といった5つの温泉地から成り立ち、それぞれの地には湯にちなんだ伝説が残っている。荒川渓谷に位置する鷹の巣温泉には「河原で水浴びをしている一羽の傷ついたオ

オタカカ姿を見て不思議に思った舟人が、確かめてみると湯が湧いていた」と言い伝えられている。温泉の名にも由来する伝説を聞けば、ロマソンを感じるとともに、自然の恩恵と湯を守り継ぐ人々に畏敬の念が込み上げてくる。温泉郷にある5つの湯はすべて透明度が高く、首までどっぷり浸かれば肌に優しく心地いい。湯舟からあふれ出す湯の清らかさは、荒川の流れを彷彿とさせるほどだ。そびえる山々と川音、静寂のひととき——。心の洗濯にふさわしいと思える時間がここにある。

えちごせきかわおんせんごう

雲母温泉 きらおんせん



荒川を挟んで高瀬温泉の対岸に位置する温泉地。遠くにそびえる飯豊・朝日連峰の山々と雄大な荒川の眺めが訪れる人を魅了する。荒川に沿って1軒、荒川を見下ろす高台に1軒の旅館がある。

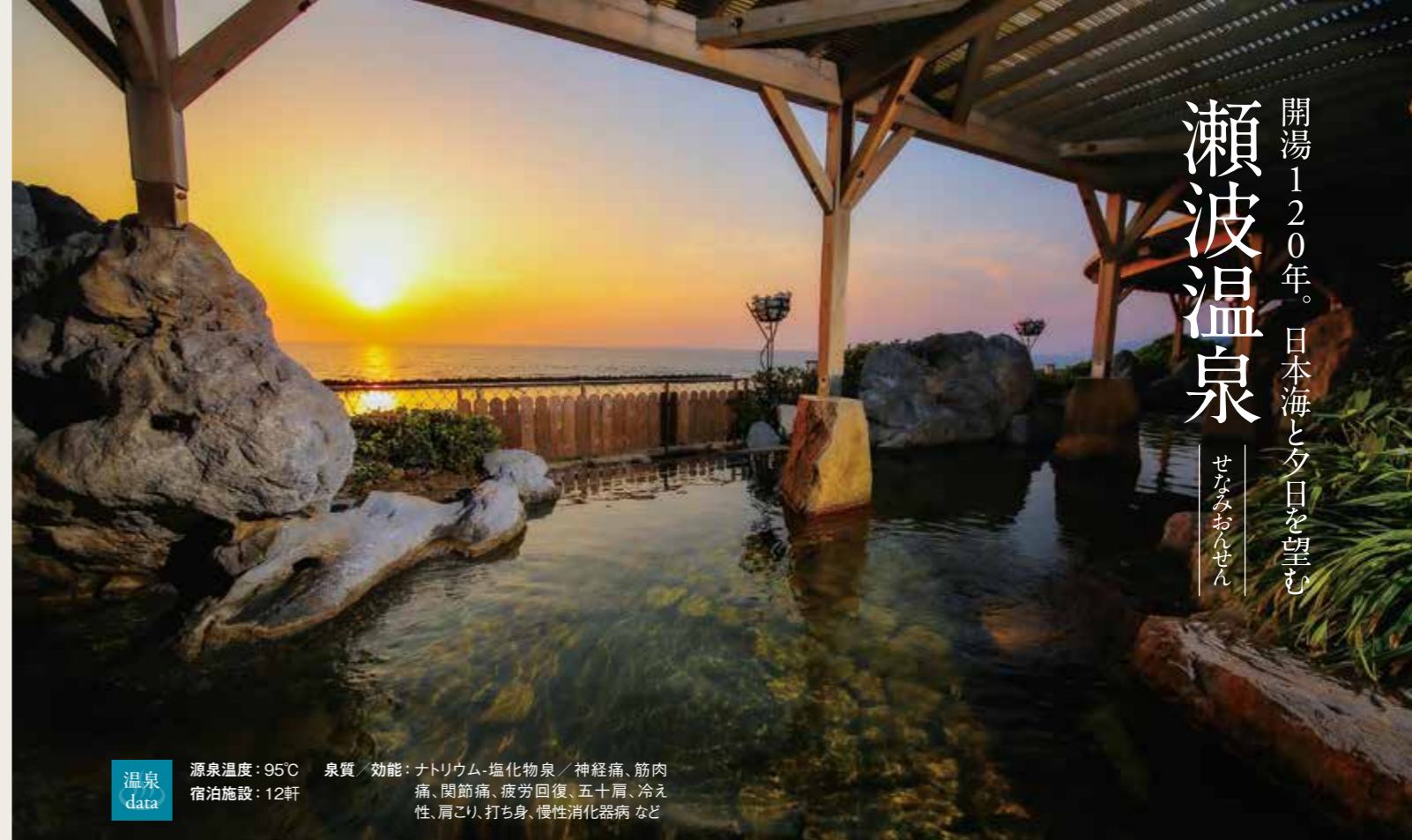
温泉 data 源泉温度: 62℃ 泉質/効能: 芒硝カルシウム含有アルカリ性塩泉 / 慢性関節リウマチ、神経痛、胃腸病、創傷、痛風、湿疹、婦人病 など 宿泊施設: 2軒

湯沢温泉 ゆさわおんせん



村内で最も古い歴史を持つ温泉。旅館や民宿といった宿泊施設はなく、現在は朝6時から18時まで利用できる1軒の共同浴場のみで入浴が可能。地元の人と触れ合いながら、肌にしっとりなじむお湯に浸かるのも一興だ。

温泉 data 源泉温度: 55℃ 泉質/効能: ナトリウム-硫酸塩-塩化物泉 / 神経痛、筋肉痛、関節痛、きりきず、やけど、動脈硬化症 など 宿泊施設: なし



瀬波温泉

せなみおんせん

開湯120年。日本海と夕日を望む

温泉 data 源泉温度: 95℃ 泉質/効能: ナトリウム-塩化物泉 / 神経痛、筋肉痛、関節痛、疲労回復、五十肩、冷え性、肩こり、打ち身、慢性消化器病 など 宿泊施設: 12軒

与謝野晶子も愛した こんこんと湧き出る名湯

ここにも立ち寄ろう



自然・環境 NATURE

せなみおんせんふんとうえん

瀬波温泉噴湯公園

温泉街を見下ろす高台にある公園。園内には源泉井戸があり、蒸気が勢いよく立ち上る光景は圧巻だ。また、持ち込んだ生卵を源泉に入れて温泉卵作りを体験できる。日本海に沈む夕日を眺めながら、温泉卵を味わってみてはいかが。

data 新潟県村上市瀬波温泉2-5-36 利用料:無料 Pあり



温泉卵作りの所要時間は約15分。生卵は温泉街の土産物店や瀬波温泉観光案内所などで購入できる。

百一十年の時をつなぐ 夕日が映える海辺の湯

瀬波温泉の始まりは明治37年。石油掘削中に白い湯気を出して熱湯が噴出して以来、豊富な湯量を誇る風光明媚な温泉地として発展を遂げてきた。7カ所から湧き出る源泉の温度はおよそ95度もあり、別名「熱の湯」とも呼ばれている。上質な湯とともに訪れる人の心を掴んでいるのが、日本海が目の前に広がる抜群のロケーションだ。昭和12年には歌人・与謝野晶子が訪れ、45首もの歌を残している。「温泉は、いみじき瀧のいきほいを天に示して逆しまに飛ぶ」。湯けむりが立ち上る湯元や青々と茂る松林、佐渡や粟島を望む静かな浜辺……。わずかに2日間の滞在にもかかわらず、多くの歌を詠みあげた与謝野晶子の目に映った景色は、歳月を重ねた現在も変わらず多くの人々を魅了している。

自然・環境 NATURE

大観荘せなみの湯 たいかんそうせなみのゆ



全客室から日本海を一望できる開放感抜群の宿。訪れる人のお目当ては、美しい夕日を眺められる露天風呂だ。地元で採れた新鮮な魚介をはじめ、村上牛やノドグロといった上質な食材をいかした料理も評判。

data 新潟県村上市瀬波温泉2-10-24 tel.0254-53-2131 宿泊料金:1泊2食付17,600円～(2名利用時の1名料金、入湯税別) Pあり



おみやげの虎屋 澤 治さん Sawa Osamu

1958年創業の土産物店の店主。瀬波温泉の歴史と文化に精通。温泉地としての魅力を発信している。



SHIBATA CITY Culture Tourism
 07 白壁兵舎広報史料館
 しらかべへいしゃこうほうしりょうかん
 史跡・建造物 HISTORIC SITES & BUILDINGS



白い漆喰で塗られた外観が印象的
 貴重な歴史史料を多数展示

1 874年に陸軍兵舎として建築された白壁兵舎は、日本最古の木造兵舎といわれていた。その兵舎を移築・改修し、2014年から史料館として無料で一般公開している。館内は新発田藩政時代の史料や、郷土部隊の貴重な史料、陸上自衛隊第30普通科連隊活動写真などを展示している。

data
 新潟県新発田市大手町6-4-16
 tel.0254-22-3151
 9:00~16:00
 月休(祝の場合は翌日) Pあり

SHIBATA CITY Culture Tourism
 05 宝光寺
 ほうこうじ
 史跡・建造物 HISTORIC SITES & BUILDINGS



堂々たる威厳と風格を漂わせる古刹
 境内に咲く枝垂れ桜は新発田の春の風物詩

新 発田藩祖溝口秀勝公が開基して以来、溝口家代々の菩提寺として信仰されてきた。境内の徳川家光寄進と伝えられる推定樹齢約400年の枝垂れ桜である「城東窟の桜」は、春には多くの見物客で賑わう。毎週土曜の夜と毎月第2日曜の午後には坐禅会が開催され、誰でも参加できる。

data
 新潟県新発田市諏訪町2-4-17
 tel.0254-22-4376
 Pあり

SHIBATA CITY Culture Tourism
 03 新発田城
 しばたじょう
 史跡・建造物 HISTORIC SITES & BUILDINGS



日本百名城に選ばれた新発田市のシンボル
 江戸時代の城郭建築が現存する壮観な平城

初 代新発田藩主溝口秀勝が1598年に入封。築城を開始し、3代直宣のときに完成。入封から56年という長い年月を費やした。天守に相等する三階櫓は、3匹の鯨を配する独特な櫓で全国的にも珍しい。表門と旧二の丸隅櫓は当時のままの姿で残され、国の重要文化財に指定されている。

data
 新潟県新発田市大手町6-4
 tel.0254-22-9534
 (新発田市文化行政課)
 9:00~17:00
 (11月は~16:30)
 月休(12~3月は休) Pあり

SHIBATA CITY Culture Tourism
 01 加治川治水記念公園
 かじかわちすいきねんこうえん
 自然・環境 NATURE



春になると遊歩道に見事な桜のトンネルが出現
 レトロな水門と桜のコントラストは必見

か つて6,000本の桜が連なり、「長堤十里世界一」といわれた桜の名所。その姿は昭和41・42年の水害と河川改修で失われたが、復元が進み、現在では加治川沿いに約2,000本の桜が咲き誇る。加治川の治水の歴史を伝える石造りの水門も保存されており、絶好のフォトスポットとなっている。

data
 新潟県新発田市真野原外463-1
 tel.0254-28-9960
 (新発田市観光振興課) Pあり

SHIBATA CITY Culture Tourism
 08 体験型酒蔵リゾート 五階菱
 たいけんがたさかぐらリゾート ごかいびし
 産業 LOCAL INDUSTRY



テーマは「体験型酒蔵リゾート」
 王紋酒造を五感で楽しむ地酒揃いの物産館

江 戸時代から230有余年の歴史を誇る王紋酒造が、蔵をアーティストックに改装した複合施設。利き酒や試飲体験のほか、新発田市の歴史的背景や酒蔵をイメージしたプロジェクションマッピングを楽しめる。古い土蔵をいかしたカフェや大倉喜八郎が愛した日本庭園、土産コーナーもある。

data
 新潟県新発田市諏訪町3-1-17
 tel.0254-22-5150
 9:00~18:00
 無休
 プロジェクションマッピング体験コーナー 入場料:一般1,000円、小学生500円 Pあり

SHIBATA CITY Culture Tourism
 06 落谷虹児記念館
 ふきやこうじきねんかん
 史跡・建造物 HISTORIC SITES & BUILDINGS



新発田市出身で童謡『花嫁人形』の作者
 大正ロマンあふれる作品とその生涯を伝える

少 年時代から画家を志し、画家の竹久夢二の推薦で『少女画報』からデビュー、23歳で人気挿絵画家となった落谷虹児の記念館。落谷家から寄贈された原画800点を柱に、関連資料3,000点余りを収蔵。ロシア正教会風の建物は、新潟県内唯一の国の公共建築百選にも選ばれている。

data
 新潟県新発田市中央町4-11-7
 tel.0254-23-1013
 9:00~17:00
 (入館は~16:30)
 月休(祝の場合は翌日)
 入館料:大人550円、高校生230円、小・中学生120円 Pあり

SHIBATA CITY Culture Tourism
 04 五十公野御茶屋
 いじみのおちやや
 史跡・建造物 HISTORIC SITES & BUILDINGS



日本の美の奥行きを感じられる
 幕府の茶道方が作庭した池泉廻遊式庭園

新 発田藩主の別邸として1655年に建築。その後、幕府の茶道方・縣宗知を招いて造園され、別邸を茶寮にした。建物は洗練された数寄屋造りで、庭園には「心」の字をかたどった池や築山がある。現在は1814年建築時の姿に復原修理されており、国の名勝に指定されている。

data
 新潟県新発田市五十公野字熊ノ沢4926
 tel.0254-22-9534
 (新発田市文化行政課)
 9:00~16:30
 月休
 (祝の場合は翌日、12~3月は閉鎖) Pあり

SHIBATA CITY Culture Tourism
 02 大峰山 椽平サクラ樹林
 おおみねやま とちだいらサクラじゆりん
 自然・環境 NATURE



大峰山国有林内に自生するサクラの樹林帯
 圧巻の光景は一見の価値あり

日 本で最も小さいといわれている櫛形山脈の中に位置する標高399.5メートルの大峰山。この山はヤマザクラの地として名高く、椽平サクラ樹林として国の天然記念物に指定されている。春になると、ヤマザクラを中心に、オオヤマザクラやカスミザクラなどの桜が咲き、山腹一帯が花景色となる。

data
 新潟県新発田市貝屋椽平
 tel.0254-28-9960
 (新発田市観光振興課) Pあり



AGANO CITY Culture Tourism 15 天朝山公園



天朝山に越後府が置かれた「新潟県政発祥の地」として名を遺す

戊辰戦争後、元号が明治に改まった翌年1869年、天朝山に越後府が置かれ、同年に水原県と改められた。その後に県庁は新潟市へ移されるが、その歴史的事実から阿賀野市水原は県政発祥の地といわれている。現在は、復元された櫓が建ち、春には公園を囲むように桜が咲く。

data 新潟県阿賀野市中央町 2-1262-1 tel.0250-62-2690 (阿賀野市公園管理事務所) Pあり

AGANO CITY Culture Tourism 16 瓢湖水きん公園



ラムサール条約登録湿地でもある瓢湖は人と野鳥が共存できる野鳥保護のメッカ

白鳥の渡来地として有名な瓢湖は、1954年に日本で初めて野生の白鳥の餌付けに成功したことで注目を浴び、その後、国の天然記念物に指定された。例年10月上旬に第一陣が訪れ、11月中旬頃のピーク時には5,000羽を超える白鳥が飛来する。園内では季節ごとの花々も咲き誇る。

data 新潟県阿賀野市水原313-1 tel.0250-62-2690 (阿賀野市公園管理事務所) Pあり

SEIRO TOWN Culture Tourism 13 二宮家庭園「静勝園」とバラ園



敷地内の建造物群は国の登録有形文化財に指定 広大な敷地に咲き誇る華やかなバラは必見

聖籠の大地主として町の歴史に大きく関わってきた二宮家の邸宅。趣ある日本庭園は「静勝園」と名付けられ、庭園に接して白鳥が飛来する弁天湯があり、日本の一般住宅では類を見ない庭園となっている。バラが満開となる5月下旬～6月中旬にのみ一般公開され、訪れる人を魅了している。

data 新潟県北蒲原郡聖籠町蓮野 1087 tel.0254-27-2002(二宮) 10:00～16:00 (土・日曜は9:00～) 無休(一般公開期間中) 維持協力費600円 Pあり

SEIRO TOWN Culture Tourism 14 サクランボ



自然豊かな環境で育まれたサクランボは一度食べると忘れられないおいしさ

聖籠町のサクランボは新潟県内でトップクラスの生産量を誇り、多くの市場へ出荷されている。毎年6月に最盛期を迎え、町内に4カ所のある農園では、香夏錦、高砂、佐藤錦など、さまざまな品種のサクランボ狩りや食べ放題を楽しめる。直売所も町内各所にあり、手土産としても最適。

data 【聖籠町観光さくらんぼ園】新潟県北蒲原郡聖籠町別條、二本松 tel.0254-27-2111 (聖籠町観光協会) Pあり

SEIRO TOWN Culture Tourism 11 絆己楼・大野家表門



私塾として建てられた幕末の塾舎 志篤い多くの若者たちを育てた貴重な建物

新発田藩諏訪山新田の儒学者、大野敬吉が開塾した私塾「学古堂」の塾舎、絆己楼は1853年に建てられ、若者に学問と武道を教えた往時を今に伝える建造物。現在も大野家により保存され、町の有形文化財に指定されている。表門はかつて水原代官所の門で、明治時代に移築された。

data 新潟県北蒲原郡聖籠町諏訪山 tel.0254-27-2121 (聖籠町社会教育課) Pなし

SEIRO TOWN Culture Tourism 12 聖籠山宝積院



荘厳な雰囲気にも包まれた空間と 歴史的価値を持つ建造物が魅力

かつて聖者が籠ったことからこの地を聖籠山と名付けたという縁起が残る寺院。高僧の泰澄大徳が彫刻したと伝えられる十一面観世音菩薩と仁王尊を祀っている。新発田藩主溝口候ゆかりの品(非公開)も保存され、建造物とともに町の有形文化財に指定。春には桜も楽しめる。

data 新潟県北蒲原郡聖籠町諏訪山578 tel.0254-27-7773 Pあり

SEIRO TOWN Culture Tourism 09 位守山史跡公園



工場地帯にあるとは思えないほど 自然と歴史を感じられる穴場スポット

現 在は亀塚集落にある市川神社の旧鎮座地。新潟東港工業地帯の真ん中に位置しながらも、工場地帯に在ることを忘れさせるほど静かな公園。公園の中心部にはかつて神社があった小高い丘や池があり、ヒブナや鳥などが生息している。自然を感じながら散策を楽しめる。

data 新潟県北蒲原郡聖籠町位守町160-18 tel.0254-27-2111 (聖籠町観光協会) Pあり

SEIRO TOWN Culture Tourism 10 聖籠観音の湯 ざぶ〜ん



塩分をたっぷり含んだ湯量豊富な天然温泉 バリエーション豊富なお風呂も自慢

聖籠観音の地下1,100メートルの古代海水の源泉を利用した日帰り温泉。海水かと思うほど塩分の強い泉質なので、皮膚に良く、アトピーや皮膚病などに効能があるといわれている。大浴場をはじめ、露天風呂、圧注浴、寝湯、気泡浴、打たせ湯など、多彩なお風呂で温泉を満喫できる。

data 新潟県北蒲原郡聖籠町諏訪山652-3 tel.0254-27-1126 10:00～21:00 (最終入館は20:30) 第1、第3火休 (祝の場合は翌日) 入浴料(タオルセット付): 大人850円、小学生450円 Pあり



AGANO CITY Culture Tourism

23

さんかくだるま
三角だるま

全国的にも珍しい円錐形のだるま
かわいらしい生き生きとした表情が特徴的



伝統工芸
TRADITIONAL CRAFTS

阿賀野市の水原地域に伝わる円錐形のとんがり頭が特徴の伝統工芸品。七転び八起き、無病息災、家内安全、厄除けといった願いが込められている。地元では縁起物として親しまれているほか、贈り物としても人気。顔の表情や色使いも多様で、見ていただけで楽しくなるデザインが魅力だ。

data
問:阿賀野市商工観光課
tel.0250-62-2510

AGANO CITY Culture Tourism

24

えちごかめこんや ふじおかそめこうじょう
越後亀紺屋
藤岡染工場

伝統工芸
TRADITIONAL CRAFTS



270年以上の歴史を誇る染物屋
手作業による染めのぬくもりを守り続ける

江戸時代から続く染色技術を受け継ぎ、「注染」という昔ながらの技法を用いながら、手ぬぐいやがま口などの布小物を中心に製造している。工場兼店舗では、職人たちがひとつひとつ手作業で丁寧に染め上げた製品を展示、販売しており、その精緻な技術と美しい色彩が訪れる人々を魅了する。

data
新潟県阿賀野市中央町2-11-6
tel.0250-62-2175
9:00~18:00
(日曜、祝日は~17:00)
不定休
Pあり

AGANO CITY Culture Tourism

21

ばいごじ
梅護寺

史跡・建造物
HISTORIC SITES & BUILDINGS



数珠のように花開く世にも不思議な桜と
ひとつの花に8つの実を結ぶ珍しい梅が咲く

親鸞聖人にまつわる越後七不思議のうち、ふたつが存在する寺院。ひとつは「珠数掛ザクラ」で、数珠の房のように花を咲かせることから国の天然記念物に指定されている。もうひとつは「八ツ房の梅」で、親鸞聖人が植えた梅がひとつの花に8つの実をつけるという伝説が伝わる貴重な木だ。

data
新潟県阿賀野市小島377
tel.0250-62-2510
(阿賀野市商工観光課)
Pあり

AGANO CITY Culture Tourism

22

ヤスダヨーグルト
ヤスダヨーグルト

食
LOCAL FOOD



搾りたての生乳を使用したヨーグルト
濃厚な味わいで人気が高い阿賀野市の特産品

1987年に旧安田町の酪農家9名により安田牛乳加工処理組合として設立。「生乳を使ったヨーグルトを通じて健康を広げたい、おいしさを広く届けたい」という思いからヤスダヨーグルトが生まれた。工場直営のY&Yガーデンでは、定番のヨーグルトをはじめ、アイスやワッフルなども販売する。

data
【ヤスダヨーグルト Y&Yガーデン】
新潟県阿賀野市保田733-1
tel.0250-68-5151
9:00~17:00(L16:30)
無休
席数50
Pあり

AGANO CITY Culture Tourism

19

すいばらだいかんじょ
水原代官所

史跡・建造物
HISTORIC SITES & BUILDINGS



往時の様子を忠実に再現
江戸時代の歴史と知恵を今に伝える

1746年に江戸幕府の直轄領として水原城跡跡に設置された代官所。阿賀野市や周辺地域を支配し、年貢徴収や民政、福島湯の開発、新発田藩・村上藩の監視を主な役割として担っていた。1868年の戊辰戦争により閉鎖されたが、1995年に復元、現在は一般公開されている。

data
新潟県阿賀野市外城町10-5
tel.0250-63-1722
9:30~16:00
(12~3月は10:00~)
月休(祝の場合は翌日)
入館料:一般300円、
小中高生200円
Pあり

AGANO CITY Culture Tourism

20

よしだとうごねんはくぶつかん
吉田東伍記念博物館

史跡・建造物
HISTORIC SITES & BUILDINGS



吉田東伍の業績を集めた博物館
日本歴史地理学の先駆者の軌跡を辿る

阿賀野市保田で生まれた日本歴史地理学の先達である吉田東伍。日本全土の地名を13年かけて調べ上げた『大日本地名辞書』の編纂で有名だ。その業績を称えて建てられた記念館には、本人直筆の原稿や遺品が展示されているほか、東伍ゆかりの人物の蔵書なども取り揃えている。

data
新潟県阿賀野市保田1725-1
tel.0250-68-1200
9:30~17:00
(最終入館は16:30)
月休(祝の場合は翌日)
入館料:一般300円、
小中学生150円
Pあり

AGANO CITY Culture Tourism

17

ごぞおんせんこう
五頭温泉郷

自然・環境
NATURE



環境省が国民保養温泉地に指定
全国屈指のラジウム温泉

五頭山の山懐にある出湯、今板、村杉の3つの温泉地を総称して五頭温泉郷という。温泉郷には個性豊かな10の宿があり、そのすべてが効能の高い天然ラジウム温泉である。入浴や吸入をすることにより、新陳代謝を促進させ、さまざまな体の悩みを解消してくれる効果があるといわれている。

data
新潟県阿賀野市村杉、
今板、出湯
tel.0250-61-3003
(五頭温泉郷旅館協同組合)
Pあり

AGANO CITY Culture Tourism

18

あさいのじんじゃ
旦飯野神社

史跡・建造物
HISTORIC SITES & BUILDINGS



パワースポットとして多くの人が参拝
日常生活に根ざした諸願成就の神様を祀る

応神天皇ゆかりの由緒ある神社。神社名である「旦」は太陽が昇る様子、「飯」は米、「野」は田畑を意味し、この地が阿賀野市笹神地区で初めて稲作を行った場所といわれている。本殿裏には、願いを込めて触ると御利益があると伝えられる直径1.5メートルの大きな丸石「御神霊石」がある。

data
新潟県阿賀野市宮下968
tel.0250-62-4755
Pあり

ブンカビト

～ 地域の文化を担う人 ～

BUNKA-BITO

CULTURAL BATON PASSER



アサテラの会、びよりマルシェなど、寺に人が集うイベントを企画。ときにはコンサートをしたり、寺をライトアップしたことも

アサテラは、中心市街地に眠る貴重な文化遺産の存在を確認し整理した。2016年には「新発田まち遺産の会」を設立。これは新発田市内の歴史的建造物の登録有形文化財への登録を支援する活動だ。「ひとつのお寺だけでなく寺町全体、そして新発田市全体で協力して、故郷の魅力を掘り起こし発信する土壌ができていきます。この活動をさらに広げていきたいです」。

「お寺というのは、元来人が集うところなんです。門戸はいつも開かれています。そこに優しい心に満ちた表情の仏像があり、人々の心の拠り所になっています。そして、それぞれの寺ごとに貴重な文化財が大切に保管されている。その存在を多くの人に知っていただきたいのです」。

りました。そこで始めたのがアサテラの会。毎月どこかのお寺に行き、お経を読んで、ありがたのお話を聞いて、お粥を食べて（※コロナ禍の影響で現在お粥の提供は中止）、というのが基本ですが、座禅をしたり、コンサートをしたり、とお寺ごとに内容もさまざま、盛り上がっています。

社団法人新発田まちなみネットワークを立ち上げ、寺町通りに自身の活動拠点もかねたイベントスペース、寺町びより開設。「びよりマルシェ」寺町夜市などのイベントを開催。キッチンカーの出店、手作り雑貨の販売、ワークショップなどを行い、年齢層もさまざまな多くの人が訪れている。新発田市内外から人がお寺に集まり、寺町通りに賑わいが生まれた。「語り部の場として、時には学びの場として、お寺と



宝光寺の格調高い重層櫓門。新発田藩主溝口家の菩提寺で新発田市指定文化財



三光寺の金色に輝く本堂。国登録有形文化財



史跡・建造物
HISTORIC SITES & BUILDINGS

新発田まちなみネットワーク 伊藤正仁さん

「お寺というのは、元来人が集うところなんです。門戸はいつも開かれています。優しさに満ちた表情の仏像があり、人々の心の拠り所になっているのです」

城下町新発田の市街地を歩いてみるといかに由緒ありげな古いお寺が多く建っている。重厚な門、歴史を感じる荘厳な佇まい……。その存在は知りつつも、建物の中に入ってみることは畏れ多いと感じ、その前を素通りしている市民がほとんどだろう。「勇気を出してお寺を見学させてもらったなら、凄かったんですよ！ 文化財級の立派な建築や彫刻などの装飾、ご本尊や勇ましい仁王像……。見るものすべてに興奮しっぱなしでした」というのは、「ア

サテラの会」しばた寺びらきなどのイベントを仕掛け、新発田のお寺の魅力を発信している伊藤正仁さん。自身は新発田市出身、新婚旅行で見たローマの寺院に感動し、その後京都の寺巡りを楽しむように。そんな折に「あれ？ 新発田だってお寺がいっぱいあるぞ」と気づき、建物の中はどうなっているのだろうと興味を湧かしたという。恐る恐る近所の寺院を訪ね、そのときに味わった感動が伊藤さんの活動の原動力になっている。

「新発田にはそれぞれに個性の違うお寺があつて、訪ね歩くうちに、この魅力を多くの人に知ってもらいたいと強く思いました」と伊藤さんは、ライフワークのベースとなる「アサテラの会」を2011年に立ち上げる。これは、早朝にお寺に集まり、お勤めに参加してお粥を楽しむという月1回の定例イベントだ。「意欲あるお坊さんたちと親しくなり、話を重ねるうちに、誰でも気軽ににお寺に足を運ぶことのできるイベントをしようということにな

PROFILE Ito Masahito

1962年新発田市生まれ。新発田まちなみネットワーク代表。新発田の寺院の素晴らしさに感動し2011年に「アサテラの会」を立ち上げる。現在もイベントを多数仕掛け、新発田の寺の魅力を発信しながら文化財保護活動に尽力する。

瓦のアートがいっぱい
歩いていて楽しいよ



産業 LOCAL INDUSTRY

にいがたかわらかん かわらティエ

にいがた瓦館 かわらティエ

安田瓦に親しむことのできる体験施設。粘土で作る手のひらサイズのミニ鬼瓦づくり体験はキッズに大人気。型をとってオリジナルにアレンジしたら、その後施設で乾燥し、2〜3カ月後に自宅に届けてくれる。当日持ち帰り可能な鬼瓦絵付けは幼児でも体験可能。安田瓦のことを学ぶことのできる展示スペースもあり、背景ムービーが切り替わって、ユニークな写真を撮ることのできるフォトスポットが大人気だ。



data 新潟県阿賀野市保田7372
tel.0250-68-2112
9:00~17:00
無休
料金:鬼瓦作り体験1個2,000円、
2個3,000円
鬼瓦絵付け体験1,000円
Pあり



新潟県酪農発祥地である安田地区ならではの生乳100%のソフトクリームがおいしい!

運気が上昇!
うなぎ登り神社もあるよ



焼き上がりました!

自分だけの
オリジナル鬼瓦を作ろう!



瓦屋根の上に忍者が登場! 背景の映像がさまざまな切り替わるフォトスポットに子どもたちは大興奮!

産業 LOCAL INDUSTRY

かわらテラス

瓦テラス

壁と屋根に12,000枚もの安田瓦を使ったやすだ瓦ロードのシンボリック建物。地元で養殖されたブランドウナギ「あかの夢うなぎ」を使用したウナギ丼が名物のレストラン、酪農が盛んな阿賀野市保田地区の生乳を使ったオリジナルスイーツを提供するカフェ、そして瓦の素材で作った雑貨などを販売するショップからなる複合施設だ。旬の素材を盛り付けた季節ごとの限定パフェも子どもたちに大人気。



data 新潟県阿賀野市保田7373-1
tel.0250-47-8530
レストラン11:00~15:00、
カフェ10:00~16:30、
ショップ10:00~15:00
水休
席76
Pあり

子どもと一緒に

瓦のオブジェがいっぱい やすだ瓦ロードを歩こう

全国的にも有名な阿賀野市の安田瓦(やすだがわら)。瓦をテーマにしたユニークな施設は親子での旅に大推薦したい。



富岡さんファミリー

屋根の上に登ってみたい!
そんな思いが現実になる
撮影スポット



産業 LOCAL INDUSTRY

やすだかわらロード

やすだ瓦ロード

鉄色で重厚感のある美しい風合い、その美しさと豪雪地帯でも耐える高い強度で知られ、全国有数のシェアを誇る安田瓦。福島県会津若松市の鶴ヶ城の屋根に使われていることでも知られている。産地である阿賀野市安田エリアの工場が立ち並ぶ通りは「やすだ瓦ロード」と呼ばれ、道路沿いや工場の軒先にユニークな瓦のオブジェが建つ絶好の散歩コースになっている。おもしろい写真を撮ることのできるSNS映えスポットがいっぱいで、おすすめは「やきもの広場」。五頭連峰を背後に佇む巨大な鬼瓦モニュメントはなんと高さ3.5メートル。瓦屋根の上にいるような写真が撮れるスポットも大人気だ。約1,000枚の瓦を使用した「瓦庭園」の美しい瓦アートも注目だ。

data 新潟県阿賀野市保田7372
問:安田瓦協同組合 tel.0250-68-2112

さんかく広場に立つ
瓦の塔のオブジェ



巨大な鬼瓦をバックに
写真を撮ろう



全面に瓦が張られたバス停の待合室。瓦製造業会社、丸三安田瓦工業の工場横にある

阿賀野市

方言クイズ
(第1問)

Q. 阿賀野市の方言「はらくっちえ」はどんな意味でしょう?

- ▶ A. おなかが痛い
- ▶ B. 腹が立つ
- ▶ C. おなかいっぱい

答えは
P.80

子どもと一緒に 2

胎内昆虫の家で

チョウのエサやり体験をしよう!

おいしい蜜を
召し上がれ~!

昆虫好きの子どもたち集合! 美しく舞うチョウと仲良しになろう。



チョウのエサやり体験

子どもたちに大人気のチョウのエサやり体験は、5月~9月に実施しているアクティビティ。アゲハチョウを放し飼いでいるチョウ園の中で蜜皿を持ちながらチョウを呼ぶと、突然方向を変えて飛んでくるチョウや、上からすーっと舞い降りてくるチョウをじっくり観察することができます。ぜんまいのような口を伸ばして、おいしそうに蜜を吸うチョウのかわいらしい姿にも注目を!



常時2,500種~3,000種、約10,000点にのぼる国内外の昆虫標本に加え、10~50種の生きている昆虫も展示し、生態をわかりやすく紹介している



「ふれあいコーナー」で、カブトムシの王様とも呼ばれるヘラクレスオオカブトに触れてみよう!

たいないこんちゅうのいえ

胎内昆虫の家

「見て、楽しんで、理解する」をテーマにした体験型ミュージアム。世界の昆虫標本をはじめ、パネルや映像、クイズなどを通して昆虫たちの世界に触れることができる。観察会や標本作りなどの体験によって昆虫への理解がさらに深まる昆虫教室も、定期的に開催している。

data
新潟県胎内市夏井1204-1
tel.0254-48-3300 9:00~17:00
月休(月が祝の場合は翌日、
12月~3月19日は冬期休館)
入館料:一般410円、小中学生260円
Pあり

自然・環境
NATURE



こんなきれいな
昆虫にも会える!



胎内
方言クイズ
(第2問)

Q. 胎内の方言「のれんす」はどんな意味でしょう?

- ▶ A. 乗れません
- ▶ B. 一緒に乗りましょう
- ▶ C. 乗りたくない

答えは
P.80

BUNKA-BITO 次世代の担手

丸三安田瓦工業

遠藤 俊 さん



「TSUKI」が全国に知られることで安田瓦のイメージアップに貢献できれば嬉しいです」



PROFILE Endo Shun

1974年、阿賀野市生まれ。20代は料理人、ミュージシャンとして多彩な活動をするも、父の他界とともに丸三安田瓦工業に入社。工場長として勤務しながら2016年に「TSUKI」を開発・発表。現在は製品開発に専念し、新たなブランド「MYK」に心血をそそぐ。



1 「TSUKI」の表面は安田瓦特有の銀色。しわの模様はすべて異なる 2 新ブランドの「MYK」は苔玉置きや一輪挿しとして使用するインテリア雑貨のラインだ

瓦の生産量は全国的に衰退の一途をたどっている。日本有数の瓦の産地として知られている阿賀野市の安田地区もその例にもれず、近年廃業する会社も出てきている。そんななか安田瓦の質感をいかしたテーブルウェアが料理人の間で注目されているという。「TSUKI」と名付けられた皿は、安田瓦特有の銀の色合いと表面のシワが特徴的だ。プロデュースしたのは丸三安田瓦工業の遠藤俊さん。「共に開発したデザイナーの梅野さんが、安田瓦の表情が月面のように見える、ということとで名づけました」というこの皿は、2016年にパリで開催された世界最大級のインテリアデザイン見本市「メゾン・エ・オブジェ」に出展し、一躍

注目を集めることに。和食にも洋食にもフィットするということで県内外さらには海外の料理人からオーダーが入っているのだ。しかし華々しい世界デビューの裏では孤独な闘いがあった。「見本市に試作品を出品できたものの、オーダーが入っても肝心の商品が量産できない状態で。自分のスキルが追い付いてなかった。窯で焼いても、割れたりゆがんだり連続。その後、全国の陶磁器の産地を訪ねて現場の人と交流することで何とか技術を会得できました。目指していることは、地産開消。地元で消費するのではなくて、消費する門戸を開放したい。全国に知られることで、安田瓦のイメージアップに貢献できれば嬉しいです」。



購入して体感!

まるみやすだかわらこうぎょう
丸三安田瓦工業

data 新潟県阿賀野市保田6130-1
tel.0250-68-3802



芸術・芸能
PERFORMING ARTS

かまやしまい

釜谷獅子舞

迫力ある獅子舞で悪魔祓いをし、祝い唄を歌って福を呼び込む伝統行事。江戸時代に、船主であった渡辺源四郎が松前より獅子頭を買って来たところから始まったとされ、慶祝の歌舞として島の西側に位置する釜谷集落に伝えられている。現在は毎年1月に執り行われ、獅子舞のあとには「幸来い」という願いが込められた祝い唄「さっこい三下り」を歌い一年の福を祈願している。

data 新潟県岩船郡粟島浦村釜谷地区 問:粟島観光協会
tel.0254-55-2146

江戸時代から続く

お祝いの歌劇

先人たちの願いが
込められた石碑

いたび 板碑

板碑は石製の供養塔。鎌倉時代から室町時代にかけて、後世の幸せを願ったり先祖を供養したりすることを目的に建てられたとされている。粟島に残る板碑は、フェリー乗り場がある内浦地区の観音寺周辺を中心に140基以上。石造遺物群として新潟県有形文化財に一括指定されている。板碑に願いを込めた先人たちの姿を思い浮かべながら、島の歴史に思いを馳せてみてはいかが。

data 新潟県岩船郡粟島浦村内浦158
問:粟島観光協会 tel.0254-55-2146



史跡・建造物
HISTORIC SITES & BUILDINGS

まだまだある! 粟島のたからもの

わっぱに

わっぱ煮

杉で作った「わっぱ」という器に磯魚と味噌を入れてお湯を注ぎ、真っ赤に焼いた石を落とし煮込む島伝統の漁師料理。メバルやカワハギなど、旬の磯魚の味と香りを豪快に楽しめる一品だ。

食堂あわしまや しょくどうあわしまや

data 新潟県岩船郡粟島浦村内浦129-1 tel.0254-55-2239 不定休
11:00~14:00 ※季節により変動あり 席14

食
LOCAL FOOD



グツグツと沸騰した汁をまずはレンゲでひと口。魚から染み出した深い味わいがクセになる!

食
LOCAL FOOD



ジャガイモ

島のお母さんたちが心を込めて育てたジャガイモは、知る人ぞ知る粟島の名産品。ミネラルを豊富に含んだ島の土質が、ジャガイモ本来の豊かな風味と強い甘みを引き出している。

いさりびおんよく おとひめのゆ

漁火温浴 おと姫の湯

粟島港から徒歩5分の場所にある粟島唯一の温浴施設。日本海を一望しながら浸かるお湯は、肌なじみがいいと評判だ。湯上がりには、潮騒に耳を傾けながらゆっくりくつろごう。

data 新潟県岩船郡粟島浦村
宇日ノ見山1513-10
tel.0254-55-2030
火休 15:00~19:00
※季節により変動あり
入浴料:大人500円、
子ども220円

自然・環境
NATURE



自然・環境
NATURE

あわしま自然体験学校

あわしま自然体験学校

粟島を訪れる観光客をはじめ、子どもから大人まで幅広い世代を対象に島の自然を活かした着地型観光プログラムを提供。カヤック体験や穴釣り体験、堤防釣り体験、SUP体験といった海で楽しむアクティビティのほか、屋内で楽しめるものづくり体験などの自然体験やSDGsの考えをベースとした多彩な体験プログラムを実施している。また、島内に暮らす子どもたちに対しても、島の資源を活かした暮らし方や楽しみ方を体感・会得できるような自然教育プログラムを展開。島内外の人へ粟島の自然を感じるプログラムを提供することで、あ(与えあ)わ(分かちあ)う(自由な発想)ま(学びあい)共(共有)を心の故郷にしてもらえるようさまざまな取り組みを行っている。

data 新潟県岩船郡粟島浦村
日ノ見山1491-8
tel.0254-55-2146
8:30~17:00
不定休
体験料:各プログラムにより異なる
(前日まで要予約)

粟島の豊かな自然を体いっぱいを感じてもらえるようなプログラムをたくさん用意しています!



スタッフ
中沢 心さん
Nakazawa Kokoro

開放感抜群の
カヤック体験



海の素材を使ったものづくり体験や岩場で楽しむ穴釣りなど、インドア派でもアウトドア派でも楽しめるプログラムが目白押し!

子どもと一緒に3-

離島・粟島の

豊かな自然に触れよう!

豊かな島の恵みを五感で感じながら、粟島の自然で思い切り遊ぼう。

粟島

方言クイズ
(第3問)

Q. 粟島の方言「んっぼん」はどんな意味でしょう?

- ▶ A. お母さん
- ▶ B. おじいちゃん
- ▶ C. 弟

答えは
P.80



1月14日
阿賀野市
安田裸参り
地元の若者たちが上半身裸で安田地区の住吉神社から安田八幡宮までの約600メートルを駆け抜ける伝統行事。たいまつを片手に走る若衆たちの雄姿は必見。
data 会場:住吉神社、安田八幡宮
安田裸参り実行委員会 事務局 tel.090-5407-2991

冬 12~2月



11月上旬
新発田市
全国うまいもん横丁
北は北海道から南は沖縄まで、日本全国の「うまいもん」を一堂に集めた販売会イベント。海産物や名産品など現地に行かないと購入できない逸品がたぐいさん並ぶ。
data 会場:新発田市カルチャーセンター
問:新発田市観光協会 tel.0254-26-6789

秋 9~11月



8月23日~25日
関川村
えちごせきかわ大したもん蛇まつり
村に伝わる大里時伝説を基にしたお祭り。パレードに登場する長さ82.8メートル、重さ2トンの大蛇は、竹とワラで作った世界一長い蛇としてギネスに認定されている。
data 会場:道の駅 関川 ほか
問:関川村地域政策課 tel.0254-64-1478

夏 6~8月



4月下旬~5月上旬
胎内市
胎内市チューリップフェスティバル
2ヘクタールの園地に約700種類80万本のさまざまなチューリップが一斉に咲き誇る。春の空のもと、一面に広がる色鮮やかな花の絨毯は圧巻の一言。
data 会場:長池憩いの森公園 問:胎内市チューリップフェスティバル実行委員会 tel.0254-43-6111

春 3~5月



12月第3日曜
聖籠町
亀塚練馬
稲わらで作る大きなしめ縄(練馬)を、数え年19歳の若者たちが担いで集落の神社に奉納する。
data 会場:聖籠町亀塚地内
問:聖籠町観光協会 tel.0254-27-2111



1月上旬
新発田市
城下町しばた全国雑煮合戦
地元の伝統的な雑煮をはじめ、全国のご当地雑煮や趣向を凝らした創作雑煮が集結し「日本一の雑煮」を競う。
data 会場:新発田市役所 ほか
問:新発田商工会議所青年部事務局 tel.0254-22-2757



9月下旬
胎内市
中世歴史絵巻 板額の宴
胎内市の歴史人物で弓の名手「板額御前」の活躍を伝える。武者行列や芸能舞台、演劇上演などが行われる。
data 会場:奥山荘歴史の広場
問:胎内市生涯学習課 tel.0254-47-3409



10月27日
粟島浦村
八所神社祭礼
粟島で開催される一番大きなお祭り。御神輿を担ぎながら、半日かけて内浦集落を練り歩く。観光客も参加できる。
data 会場:八所神社
問:粟島観光協会 tel.0254-55-2146



8月下旬
胎内市
胎内星まつり
多数の望遠鏡、カメラメーカーによるブースが並ぶほか、星に関する各種体験イベントを実施。飲食店もある。
data 会場:胎内平
問:胎内市商工観光課 tel.0254-43-6111



8月24日・25日
阿賀野市
水原まつり・阿賀野市大花火大会
24日は神楽と獅子の共舞やザ・灯籠来舞などがまつりを盛り上げる。25日には花火大会が実施される。
data 会場:水原商店街 ほか
問:阿賀野市商工観光課 tel.0250-62-2510



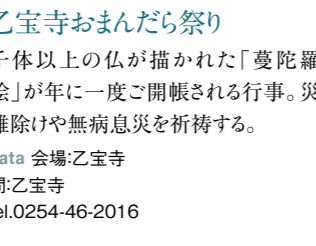
5月1日~31日
村上市
城下町村上 春の庭 百景めぐり
村上の寺社や武家、個人邸宅の庭園、町屋の風情ある中庭など、表情豊かな庭が特別に無料公開される。
data 会場:村上市旧城下町地区一帯
問:村上駅前観光案内所 tel.0254-53-2258



5月上旬
粟島浦村
島びらき
粟島の観光シーズンの幕開けを告げる催し。名物「わっぱ煮」や特産物の販売、抽選会などで観光客を歓迎する。
data 会場:粟島浦村島内
問:粟島観光協会 tel.0254-55-2146



2月6日
胎内市
乙宝寺おまんだら祭り
千体以上の仏が描かれた「曼陀羅絵」が年に一度公開される行事。災難除けや無病息災を祈禱する。
data 会場:乙宝寺
問:乙宝寺 tel.0254-46-2016



9月20日
村上市
塩谷大祭
切妻の屋並みと格子の町並みが美しい歴史ある湊町を、御神輿が一日がかりで巡行する伝統のお祭り。
data 会場:村上市塩谷一帯
問:村上駅前観光案内所 tel.0254-53-2258



9月4日~6日
胎内市
中条まつり
問:中条まつり実行委員会 tel.0254-43-3624

9月下旬
阿賀野市
阿賀野WALK&EAT in 五頭
問:五頭温泉郷旅館共同組合 tel.0250-61-3003

10月9日
粟島浦村
六社神社祭礼
問:粟島観光協会 tel.0254-55-2146

10月中旬
阿賀野市
コスモスきょうがせまつり
問:コスモスきょうがせまつり実行委員会事務局 tel.0250-62-2510

11月3日
聖籠町
聖籠秋まつり
問:聖籠町観光協会 tel.0254-27-2111



6月中旬~下旬
新発田市
しばたあやめまつり
1.8ヘクタールの園地に約300品種60万本のアヤマ(花菖蒲)が咲き競う。夜間に行われるライトアップも必見。
data 会場:新発田市五十公野公園
問:新発田市観光協会 tel.0254-26-6789

6月中旬
聖籠町
聖籠さくらんぼまつり
問:JA北新潟新発田園芸センター tel.0254-41-0770

7月4日・5日
新発田市
天王まつり
問:新発田市観光協会 tel.0254-26-6789

7月下旬
阿賀野市
ふるさとの風まつり
問:阿賀野市商工観光課 tel.0250-62-2510

8月第1金・土曜
村上市
村上市花火大会 in 清流あらかわ
問:村上市荒川支所産業建設課 tel.0254-62-3105

8月第1土・日曜
聖籠町
聖籠夏まつり
問:聖籠町観光協会 tel.0254-27-2111



3月下旬~4月中旬
阿賀野市
阿賀野市桜まつり
問:阿賀野市観光協会 tel.0250-62-2510

4月上旬~中旬
新発田市
新発田の春まつり
問:新発田市観光協会 tel.0254-26-6789

4月29日
胎内市
櫛形山脈山開き
問:胎内市商工観光課 tel.0254-43-6111

5月2日・3日
新発田市
二王子神社例大祭
問:新発田市観光協会 tel.0254-26-6789

5月3日
聖籠町
蓮湯神楽
問:聖籠町観光協会 tel.0254-27-2111

その他のイベント

その他のイベント

その他のイベント

その他のイベント



INFORMATION

NIIGATA Culture Tourism
オフィシャルサイト
<https://n-story.jp/nct/>



新潟県の文化情報

新潟の地域文化を紡ぎ繋げる



<https://n-story.jp/>

新潟県の観光情報



<https://niigata-kankou.or.jp/>



聖籠町
の観光情報



新発田市
の観光情報



関川村
の観光情報



村上市
の観光情報



粟島浦村
の観光情報



阿賀野市
の観光情報



胎内市
の観光情報



NIIGATA Culture Tourism 新発田 | 村上エリア

2024.10.4 発行

協力

新発田市、村上市、阿賀野市、胎内市、聖籠町、関川村、粟島浦村

(公社)新潟県観光協会 新発田市観光協会 (一社)村上市観光協会

阿賀野市観光協会 (一社)胎内市観光協会 聖籠町観光協会

関川村観光協会 (一社)粟島観光協会 合同会社ミライズ

編集 株式会社ジョイフルタウン

印刷 株式会社DI Palette

発行元 新潟県 観光文化スポーツ部 文化課
〒950-8570 新潟県新潟市中央区新光町4-1
tel.025-280-5619



NIIGATA Culture Tourism

Travel Model Course

新潟の文化を体感できる旅のモデルコース

旅のイメージを膨らませるためのモデルコースをご案内。下記のモデルコースと本誌を参考にして、旅の計画をしてほしい。



新発田・村上の
伝統芸能・
祭りに
触れる旅



新発田・村上の
郷土料理に
満たされる旅



新発田・村上の
方言に
親しむ旅

新発田・ 村上エリア

SHIBATA・
MURAKAMI



佐渡・新潟の
伝統芸能に
触れる旅



新潟の
郷土料理に
満たされる旅



新潟の
方言に
親しむ旅

新潟・ 佐渡エリア

NIIGATA・SADO

魚沼エリア

UONUMA



魚沼の伝統芸能・
祭りに触れる旅



魚沼の郷土料理に
満たされる旅



魚沼の方言に
親しむ旅

上越エリア

JOETSU



上越の伝統芸能・
祭りに触れる旅



上越の郷土料理に
満たされる旅



上越の方言に
親しむ旅

